



【資料① R2年度樹木点検時の樹木データ】

城内高木樹種一覧（全86種）<sup>1</sup>

	樹種	本数	落葉/常緑	根系
1	サクラ	750	落葉性*	浅根性
2	クスノキ	458	常緑性	中間性
3	ムクノキ	225	落葉性*	深根性
4	エノキ	185	落葉性*	中間性
5	ケヤキ	177	落葉性	深根性
6	アラカシ	120	常緑性	深根性
7	クログネモチ	96	常緑性	-
8	モミジ	75	落葉性	中間性
9	スダジイ	74	常緑性	-
10	イチョウ	68	落葉性	中間性
11	ナナミノキ	49	常緑性*	-
12	マキノキ	49	常緑性	-
13	タブノキ	44	常緑性	中間性
14	シラカシ	38	常緑性	深根性
15	ヒノキ	34	常緑性	浅根性
16	ツバキ	29	常緑性	深根性
17	センダン	28	落葉性*	-
18	チシャノキ	27	落葉性*	-
19	ソヨゴ	24	常緑性*	-
20	モッコク	24	常緑性	中間性
21	マテバシイ	20	常緑性*	-
22	キンモクセイ	17	常緑性	-
23	カシノキ	15	常緑性*	-
24	スギ	15	常緑性	浅根性
25	タラヨウ	15	常緑性*	-
26	ハゼノキ	14	常緑性	-
27	イスノキ	12	常緑性*	-
28	シロダモ	11	常緑性*	-
29	ヤマモモ	11	常緑性	-
30	ナギ	10	常緑性*	浅根性
31	アキニレ	9	落葉性	中間性
32	ウスギモクセイ	9	常緑性*	-
33	カゴノキ	9	常緑性*	-
34	シュロ	8	常緑性*	-
35	カキノキ	7	落葉性*	-
36	ナンキンハゼ	7	落葉性*	-
37	マツ	7	常緑性	-
38	シイノキ	6	常緑性*	中間性
39	トウカエデ	6	落葉性	中間性
40	ヤブニツケイ	6	常緑性*	-
41	エゴノキ	5	落葉性*	-
42	コブシ	5	落葉性	中間性
43	シャラ	5	落葉性*	-

	樹種	本数	落葉/常緑	根系
44	ハナミズキ	5	落葉性*	-
45	ヒイラギ	5	常緑性	-
46	ヤマボウシ	5	落葉性*	-
47	バウチノキ	4	常緑性*	-
48	イヌマキ	3	常緑性	浅根性
49	カツラ	3	落葉性*	-
50	カマツカ	3	落葉性*	-
51	サルスベリ	3	落葉性	-
52	ヒメシャラ	3	落葉性*	-
53	ビワノキ	3	常緑性*	-
54	ホルトノキ	3	常緑性*	-
55	モチノキ	3	常緑性	浅根性
56	アオギリ	2	落葉性*	-
57	イロハモミジ	2	落葉性*	-
58	クリ	2	落葉性	深根性
59	サカキ	2	常緑性*	-
60	サンゴジュ	2	常緑性	-
61	ハルニレ	2	落葉性*	-
62	ムクロジ	2	落葉性*	-
63	ユズリハ	2	常緑性	-
64	アカメガシワ	1	落葉性*	-
65	イヌビワ	1	落葉性*	-
66	ウツギ	1	落葉性	-
67	オガタマノキ	1	常緑性*	-
68	カイツカイブキ	1	常緑性*	-
69	キリ	1	落葉性*	-
70	クストイゲ	1	常緑性*	-
71	クヌギ	1	落葉性	深根性
72	クヰミ	1	落葉性*	-
73	クロキ	1	常緑性*	-
74	コウヨウザン	1	常緑性*	-
75	ザクロ	1	落葉性*	-
76	ソテツ	1	常緑性*	-
77	タイサンボク	1	常緑性*	-
78	トチノキ	1	落葉性	-
79	ナラガシワ	1	落葉性*	-
80	ネズミモチ	1	常緑性	-
81	ネムノキ	1	落葉性	-
82	ヒマラヤスギ	1	常緑性*	浅根性
83	ミズナラ	1	落葉性*	-
84	メタセコイヤ	1	落葉性*	-
85	モミ	1	常緑性	深根性
86	ラカンマキ	1	常緑性	-
合計		2,885		

- :掲載なし

<sup>1</sup> 出典：【落葉/常緑・根系】 文化庁『史跡整備のてびき』Ⅲ技術編 p206、【落葉/常緑】\* 平凡社『日本の野生植物1～5』2017年

## 第6節 緑の保存管理

### 1 基本方針

特別史跡範囲を含めた旧城域の大部分は都市公園区域に含まれており、「熊本城公園」として開設され、多くの市民に憩いの場として親しまれている。

また、本市は昭和47年（1972）に「森の都宣言」を決議し、熊本城をそのシンボルとして都市の緑の保全に努めることを方針としている。

旧城域内には往時からの地下遺構・建造物・石垣等が良好な状態で現存している。樹木についても、幕末以前から存在するイチヨウやクスノキをはじめ多種多様の樹木が存在し、重要な構成要素となっているとともに、森の都のシンボルともなっている。一方で、樹木の成長によって、遺構や史跡の保全、安全性の確保、さらには景観・眺望の確保が困難となる恐れがあることも事実である。

史跡や歴史的建造物等と緑の適切な調和を図るため、緑の保存管理の基本方針を以下のとおり定める。

- ①貴重な文化財を後世に引き継ぐことを第一とし、景観や適正な緑の確保にも努め、史跡と緑の調和を図る。
- ②日常的な点検を充実させ、遺構の保護、安全の確保、眺望の確保に配慮した樹木の適切な管理を行う。
- ③熊本城における緑の本質的価値を明らかにするため、江戸時代における樹種やその配置などについて絵図・文献史料の調査・研究を行い、管理に活かす。

## 2 緑の保存管理の考え方

特別史跡内に存在する樹木を分類し、所有者や管理者が行うべき適切な保存管理の考え方を以下のとおり定める。

植栽 現状	幕末以前から存在すると 思われる樹木	公園整備等により植樹され た樹木	近代以降に自生し成長した 樹木
健全に生育し遺構・眺望の保全や見学者の安全に影響を与えていない樹木	適正な管理を行い、生育環境の保全に努める。	成長等により樹木が過密状態となっているものは、樹種による植付け間隔を検討し、剪定・移植・伐採により過密化を解消する。	
防災・安全上の危険樹木	来園者への安全確保のため、枯損木・枯れ枝等について倒木や落枝の危険性などがある場合、必要に応じて専門家による診断・剪定等の適切な処置を行う。		
石垣・建造物等に影響を及ぼしている樹木	影響が最小限になるような対策を講じ、できる限りの共存を図る。 専門家による評価・検討の上、剪定・移植・伐採等の適切な処置を行う。	専門家による診断・検討の上、剪定・移植・伐採等を実施する。	
眺望を阻害する樹木	「視点場」(※)を設定し、必要に応じて剪定を実施する。	「視点場」(※)を設定し、必要に応じて剪定・移植・伐採等を実施する。	
枯れ・腐朽菌・白蟻により外観の異常が確認できる樹木	樹勢回復等の適切な措置を行う。回復が不可能と思われるものについては、専門家による診断・検討の上、処置方法を決定する。		
踏圧や栄養不足等により樹勢が衰弱している樹木			
外来種 (国内導入から長い歳月を経て日本の風土や史跡の景観に馴染んでいる種を除く)	—	旺盛な繁殖力等により史跡や在来種に影響を及ぼす恐れがある種について伐採等を検討する(監視台樹木園を除く)。	

上の表は特別史跡内における考え方であるが、次項で視点場を設定するように、熊本城の景観は特別史跡外の景観の変化にも影響を受けるものである。このため、旧城域全域においても所有者や管理者に対し、適切な緑の保存管理に努め、熊本城と緑の調和が図れるよう促していく。

※ 視点場の設定（「図 38 視点場設定位置図」参照）

熊本城跡の景観は、石垣や重要文化財等の建造物及び樹木によって形成されている。樹木の成長により景観の変化や眺望の阻害が著しいことから、重要文化財や大小天守を中心に眺望を確保するための視点場を設定する。

代表的な視点場としては以下のとおりとするが、そのほかの場所からであっても眺望に配慮し、対応を検討していくこととする。

本丸地区を外郭から望む視点場と現状 ※保存活用計画以降の変更点は青字で示す	
視点場	概要
① 通町電停付近	大天守、本丸御殿大広間、源之進櫓等が望める。 →東竹の丸の樹木繁茂が顕著。
② 桜町交差点付近	大天守、飯田丸五階櫓、馬具櫓等が望める。 <b>（飯田丸五階櫓、馬具櫓は現在復旧中）</b> →樹木の繁茂が顕著で道路照明灯が視覚に入る。
③ 加藤神社鳥居横	宇土櫓、大小天守、熊本城最高の高石垣が望める人気の撮影ポイント。 <b>（宇土櫓は現在復旧中）</b> →加藤神社側法面の樹木により視界を阻害
④ 備前堀縁	飯田丸五階櫓と竹の丸の堀、後方に大天守が望める。備前堀が水鏡となり復元した櫓、堀が映る。 <b>（飯田丸五階櫓、竹の丸の堀は現在復旧中）</b>
⑤ 二の丸広場	空堀越しに復元した西出丸堀を前面に宇土櫓、大小天守が望める撮影ポイント。 <b>（宇土櫓、西出丸堀は現在復旧中）</b>
⑥ 竹の丸 <b>（現在復旧中のため立ち入り規制中）</b>	難攻不落を象徴する石垣の重なりがよく解り、大天守や本丸御殿の屋根が確認できる絶好の撮影ポイント。→桜の季節には彩を添える。落葉樹の大木があり、若干視線を阻害。
⑦ 棒庵坂下	櫓方三階櫓台石垣の直線と大小天守北面が望める。 →樹木が繁茂し視界を遮る。
⑧ 千葉城橋際	大天守、復元した長局櫓、重要文化財建造物の源之進櫓の屋根が望める。 →樹木が繁茂し視界を遮る。

本丸地区内の建造物から望む視点場と現状 ※保存活用計画以降の変更点は青字で示す	
視点場	概要
Ⓐ～Ⓓ大天守最上階	城域内や城下の様子が望める。明治初期の古写真との対比により時代の変遷が判る。
Ⓔ～Ⓕ宇土櫓最上階 <b>（現在復旧中のため立ち入り規制中）</b>	明治初期に撮影された大小天守と同じアングルで撮影できる。空堀や堀により西出丸、二の丸、西方の山々が望める。空堀や堀などにより当時の防衛線が確認できる。

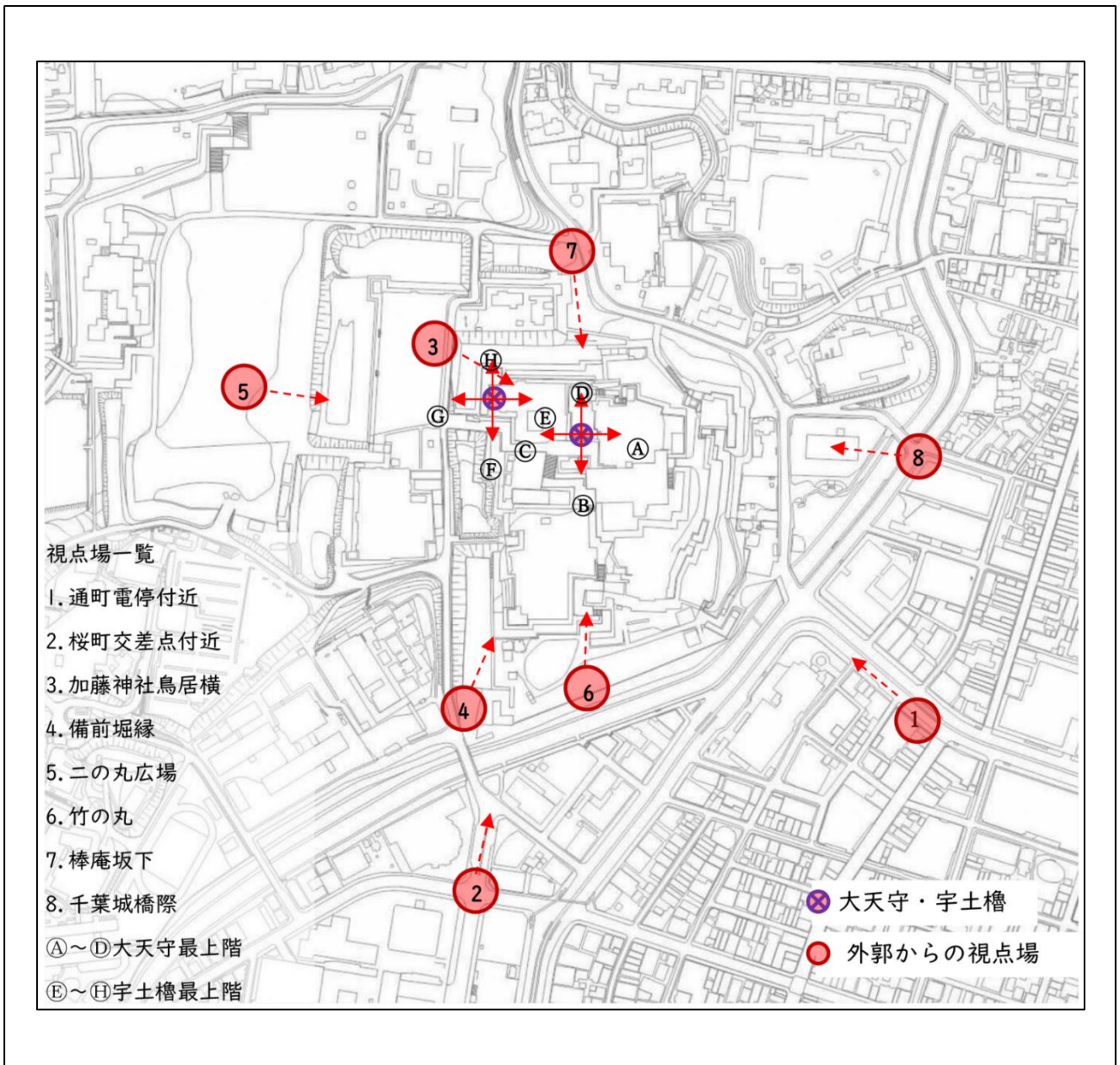


図 38 視点場設定 位置図

### 3 管理の手法等

#### (1) 管理の手法

- ①伐採は、地下遺構に影響を及ぼす恐れがあるため、原則、地盤面より上で実施する。
- ②移植は、遺構確認調査を実施し、将来においても遺構への影響がないと認められた場所でのみ実施を検討する。
- ③新たに植栽する樹木は、史跡の保護や景観の維持に影響を及ぼさないことを前提として、城郭として相応しいか、熊本の環境に適した樹木であるかなどの検討を絵図・文献史料を参考にしながら選定する。
- ④剪定等は、樹木種別による樹形や周辺の景観に配慮して行う。

#### (2) その他

- ①石垣等で発生している幼木は、早い時期に抜き取る。また、北面や樹陰となっている箇所のコケ等は必要に応じて除去する。
- ②イヌノフグリ・ヒメウラジロ・ツクシスミレ等の稀少植物も自生していることから、遺構に影響のない範囲でその保全に努める。
- ③桜については、桜の名所としても定着していることから、補植などによる世代交代を行い景観の継続保持に努める。また、補植については可能な限り山桜系を採用する。
- ④詳細な管理基準については、管理方針に沿った計画を別途策定するものとする。

# 熊本城樹木点検のてびき

熊本城総合事務所

令和2年7月 策定

令和5年2月 改定



## 1 策定の経緯と目的

これまでの樹木調査により旧城域内には約6,300本もの樹木（高・中・低木等）が存在していることが分かっている。樹木管理については、平成30年発行の「特別史跡熊本城跡保存活用計画」において、緑の保存管理の基本方針が以下の通り記載されている。

### 特別史跡熊本城跡保存活用計画（抜粋）

1. 貴重な文化財を後世に引き継ぐことを第一とし、景観や適正な緑の確保にも努め、史跡と緑の調和を図る
2. 日常的な点検を充実させ、遺構の保護、安全の確保、眺望の確保に配慮した樹木の適切な管理を行う
3. 熊本城における緑の本質的価値を明らかにするため、江戸時代における樹種やその配置などについて絵図・文献史料の調査・研究を行い、管理に活かす

現在、熊本城旧城域内における熊本城総合事務所管理区域内に植生する樹木については、必要に応じ剪定や落枝・倒木の撤去等の対応を行っているが、樹木本数が多いことから管理が容易ではなく、遺構や景観への影響も懸念されている。

今後、城内の復旧に併せて一般公開エリアを段階的に拡大する予定であり、来城者の増加も見込まれることから、適正な樹木点検を行い落枝・倒木等の発生を未然に防ぎ、来城者の安全を守る必要がある。また、近年では落枝、枝・根の成長による歴史的建造物や石垣への影響、樹木の密集や巨木化による眺望の阻害も発生していることから、文化財保全面や眺望面にも考慮した保存活用計画に則った点検項目を設け、定期的に樹木の点検を行う必要がある。

そこで、本てびきは以下の3つことを目的に策定を行う。

[本てびきの目的]

**遺構の保護**・・・地下遺構・歴史的建造物・石垣などを樹木の影響から守る

**安全の確保**・・・倒木のリスクを少なくし、来城者の安全を守る

**眺望の確保**・・・熊本城周辺の各視点場からの眺望を確保する

上記3つのことを目的に本てびきを策定することで、効果的な樹木点検の実施と適正な樹木管理を行い、史跡と緑の調和のとれた熊本城の保存・活用を行っていく。

なお、本てびきは平成29年9月国土交通省が策定した「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）」を基本に策定を行ったものである。

また、令和5年2月には、「熊本城みどり保存管理計画」を策定し、その中で、この「熊本城樹木点検のてびき」による樹木点検の実施を正式に位置づけた。

今後は、本てびきを使用していく中で改善すべき点があった場合は、今後も改訂を重ね、実用的かつ充実性のあるてびきを作成していくものとする。

## 2 適用範囲と樹木区分

### 【適用範囲】

熊本城樹木点検のてびきの適用範囲フローを、図1に示す。また、本てびきの適用範囲図を図2に示す。本てびきは熊本城総合事務所管理区域内（赤枠部分）に植生する樹木（高木・中木・低木）のうち高木（樹高3.0m以上）を対象とし、旧城域内で他者管理区域（藤崎台県営野球場や神社等）に植生する樹木については熊本市では管理を行わず、同区域の各管理者が管理を行う。

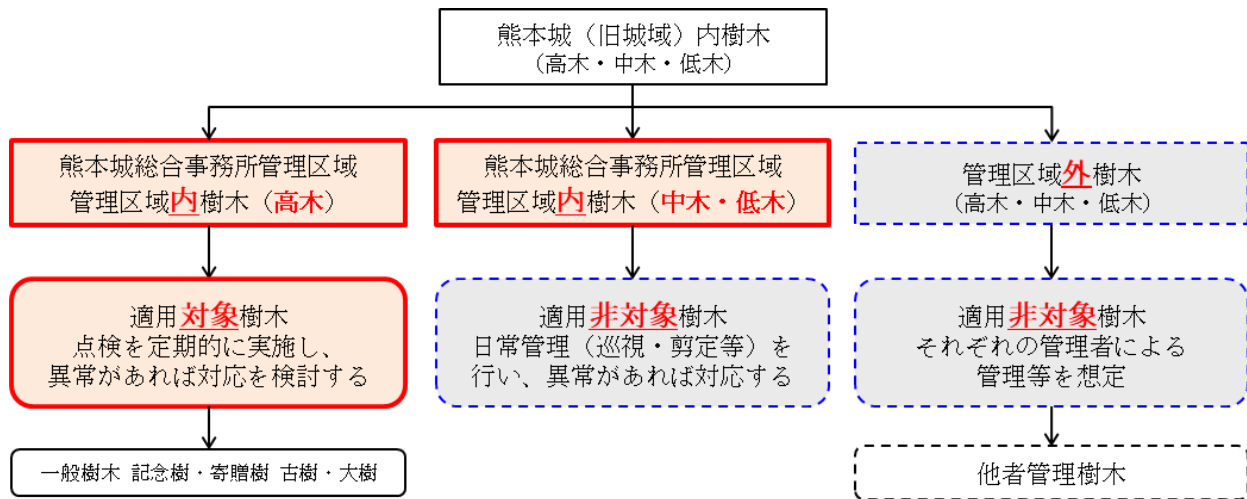


図1 熊本城樹木点検のてびき適用範囲フロー

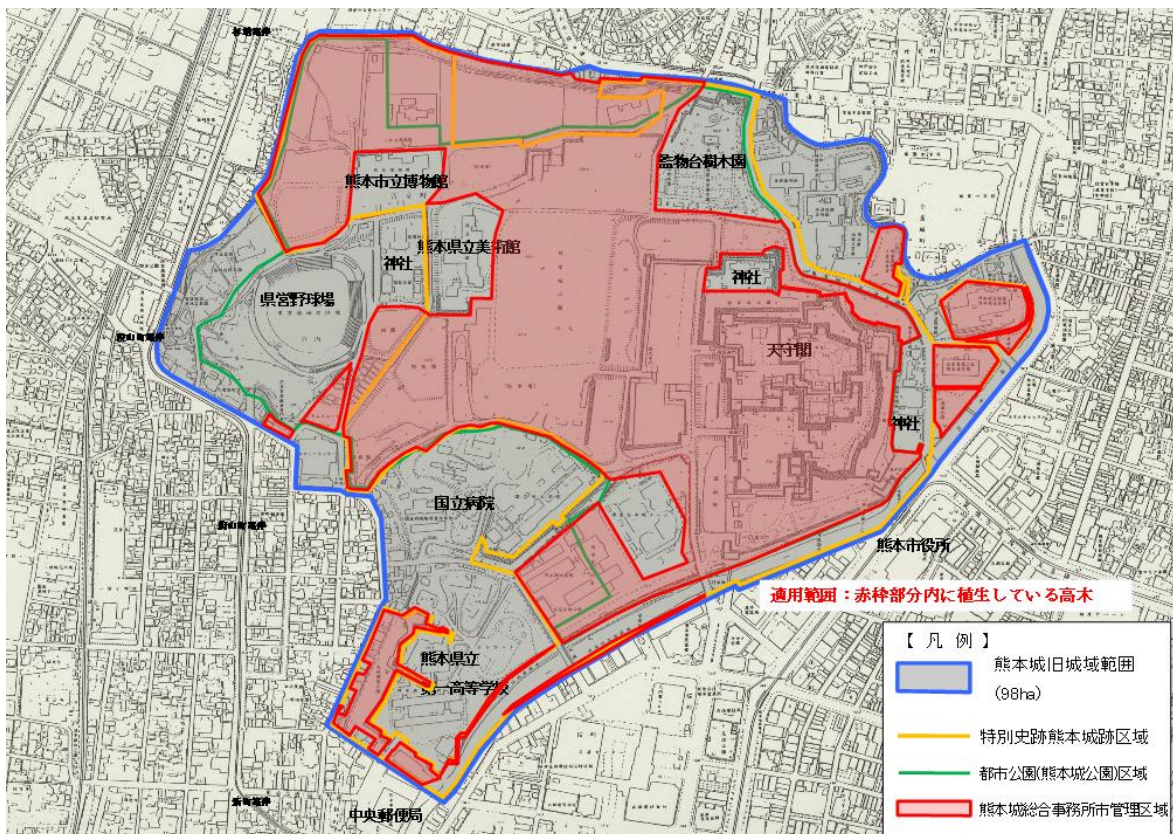


図2 樹木点検のてびき適用範囲（令和元年度）

### 【樹木区分と保存重要性】

城内樹木を一般樹木、記念樹・寄贈樹、古樹・大樹、他者管理樹木の4種類の区分に分類し、区分毎の保存価値を表す指標として保存重要性を定める。保存重要性の指標は「標準・やや高い・高い」とし、図3にその区分を示す。なお、点検の際に異常が確認された樹木については「特別史跡熊本城跡保存活用計画」に基づき対応する。（参考資料（1）参照）

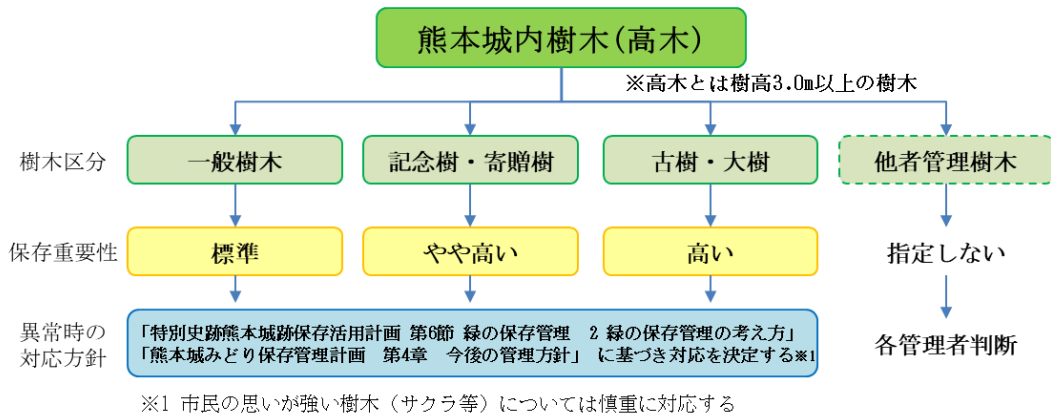


図3 熊本城内樹木区分について

#### (1) 一般樹木

一般的に植生する樹木で下記(2)～(4)以外のもの。保存重要性は「標準」。異常が発見された場合や本てびきの3つの目的に対して支障が生じた場合は、剪定・移植・伐採等の適切な対応を行う。

#### (2) 記念樹・寄贈樹

記念植樹や過去に地域団体等から提供され植樹したもの。保存重要性は「やや高い」。異常が発見された場合や本てびきの3つの目的に対して支障が生じた場合は、事前に関係者と協議・打合せを行った上で剪定・移植・伐採等の適切な対応を行う。伐採を行う場合には慎重に対応を行う。

#### (3) 古樹・大樹（幕末以前から残る樹木）

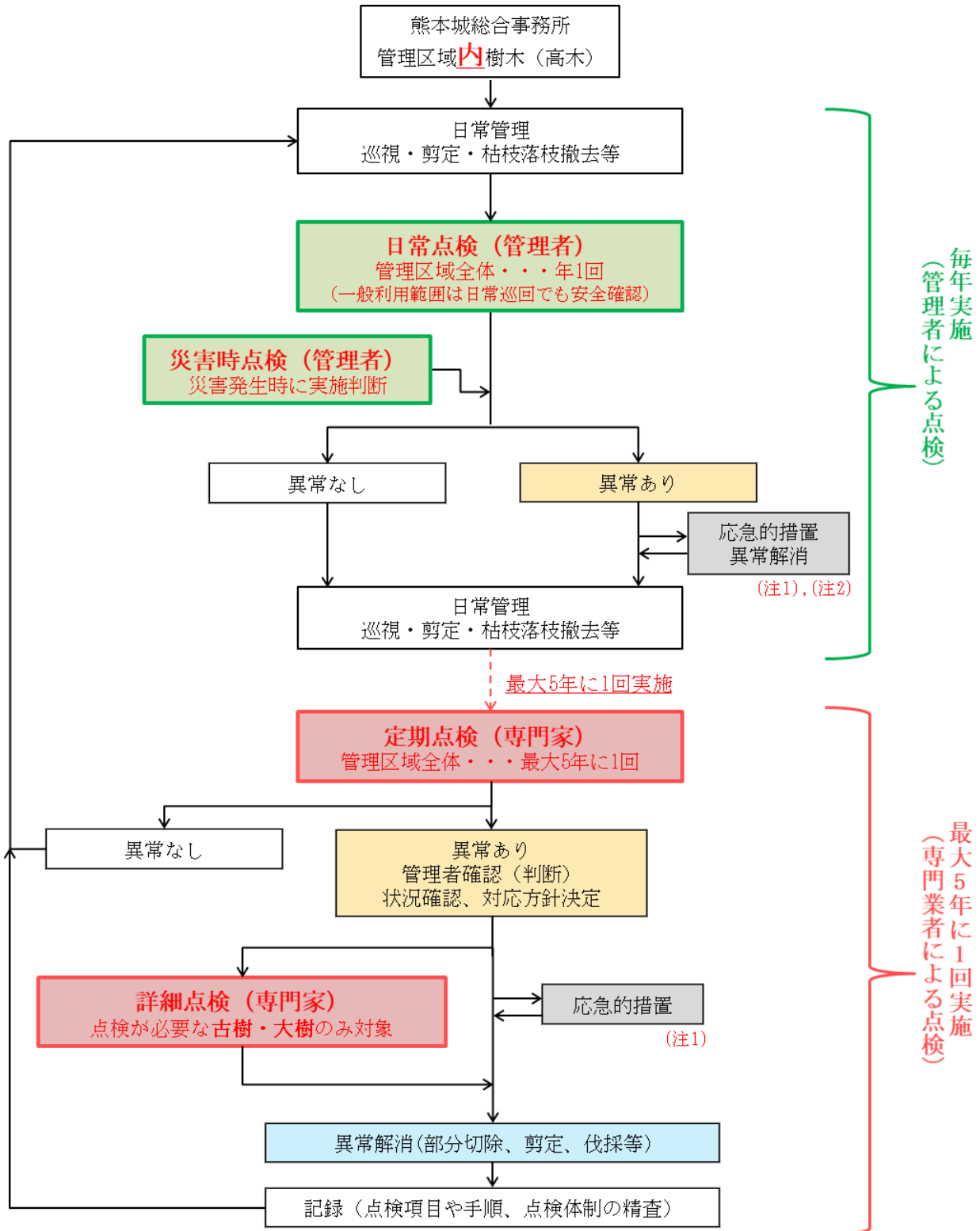
古写真（明治初期）、絵図、幹周の数値から、幕末以前から存在すると思われる樹木（詳細は「熊本城跡みどり保存管理計画」参照）。保存重要性は「高い」。異常が発見された場合や本てびきの3つの目的に対して支障が生じた場合は、熊本城みどり保存管理計画に基づき、事前に関係者と協議・打合せを行った上で樹勢回復措置・剪定・安全確保等の適切な対応を行う。

#### (4) 他者管理樹木

旧城域内で熊本城総合事務所以外の管理者が管理する区域内に植生する樹木。他者管理区域内の植生樹木については熊本市では管理を行わないため、保存重要性は定めないこととする。（他者管理区域の例：監物台樹木園（九州森林管理局管理）、県立美術館、熊本博物館、加藤神社、熊本大神宮、護国神社、国立病院機構 熊本医療センター、藤崎台県営野球場、県立第一高校 等々）

### 3 樹木点検の流れ

樹木点検は毎年実施する部分（管理者による点検）と、最大5年に1回実施する部分（専門家による点検）で構成される。樹木点検の流れを図4に示す。



(注1)後述参考資料(1)を参照しながら樹木区分毎の対応を実施する  
 (注2)状態が非常に悪い場合には個別に定期点検もしくは詳細点検を検討する

図4 樹木点検の流れ

#### 4 点検内容

各種点検内容について表1に示す。点検頻度は状況に合わせて変更を行う。

表1 各種点検内容

分類	日常点検	災害時点検	定期点検	詳細点検
点検者	管理者	管理者	専門業者	専門業者
点検頻度	年1回(管理区域全体)	災害発生時 管理者判断	最大5年に1回	定期点検結果に応じて
点検対象樹木	全樹木	管理者判断	全樹木	点検が必要な古樹・大樹
作成点検票	点検票① 点検票② 点検票③	点検票① 点検票② 点検票③	点検票① 点検票③ 点検票④	点検票① 点検票⑤
分類	点検実施項目			
共通項目	○	○	○	×
特別項目	○※(6)のみ目視確認	○※(6)のみ目視確認	○	○
専門項目	×	×	○	○
詳細項目	×	×	×	○
分類	各種点検項目内容			
共通項目	≪日常点検、定期点検時に実施する項目≫ (1)倒伏、落枝による利用障害 (2)枯れ枝・ぶら下がり枝(かかり枝)で落枝危険性の高いもの (3)視距の障害 (4)突出枝 (5)各視点場からの眺望 ※他の項目の内容で明らかに確認できる変状及び異常は記載する			
特別項目	≪定期点検、詳細点検時に実施する項目、(6)のみ日常・災害時点検で実施≫ (6)重要文化財建造物等に影響 (7)石垣、露出遺構(礎石・溝等)に影響			
専門項目	≪定期点検、詳細点検時に実施する項目≫ (8)樹幹の揺らぎ (9)樹幹の不自然な傾斜 (10)樹幹の亀裂・腐朽 (11)樹幹・大枝・地際のキノコ (12)樹勢 (13)樹形 (14)建築限界の侵害(2.5m以下に枝が突出) (15)支柱の腐朽・損傷・浮上・結束の緩み (16)支柱の樹幹への食込み (17)舗装部の根上がり (18)踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み (19)利用者に被害を及ぼすおそれのある実生樹木 ※詳細項目の内容で明らかに確認できる変状・異常は記載を行う			
詳細項目	≪詳細点検時に実施する項目≫ (20)樹幹の開口空洞・隆起 (21)腐朽部露出 (22)樹皮枯死・欠損 (23)結合部の変状及び異常 (24)穿孔害虫 (25)根張り(ルートカラー) (26)打診音異常(打音による点検) (27)根系の変状及び異常(貫入による点検) (28)樹体内部の変状及び異常(機器による診断) ※詳細項目以外の内容で明らかに確認できる変状・異常は記載を行う			

### 日常・災害時点検（管理者による点検）

日常点検は管理区域全体に対して年1回実施する。ただし、来城者の一般利用範囲については日常巡回の中でも安全確認を行う。

一般利用範囲・・・特別公開範囲を含めた来城者の立入が可能な場所

管理区域全体・・・一般利用範囲のほか、来城者の立入禁止区域も含めた場所

点検時には「点検票①点検一覧票」、「点検票②日常・災害時点検票」、「点検票③各視点場確認票」を作成する。

点検範囲である来城者一般利用範囲については毎年検討を行う。災害が発生した際は、必要に応じて災害時点検を行う。点検票作成内容を表2に、点検の流れについて図5に示す。

表2 日常・災害時点検票の作成について

日常・災害時点検	(1)一般樹木	(2)記念樹・寄贈樹	(3)古樹・大樹
点検票①	点検樹木すべてを記録		
点検票②	点検樹木すべてを記録（※異常樹木のみでも可）		
点検票③	点検実施時に作成		

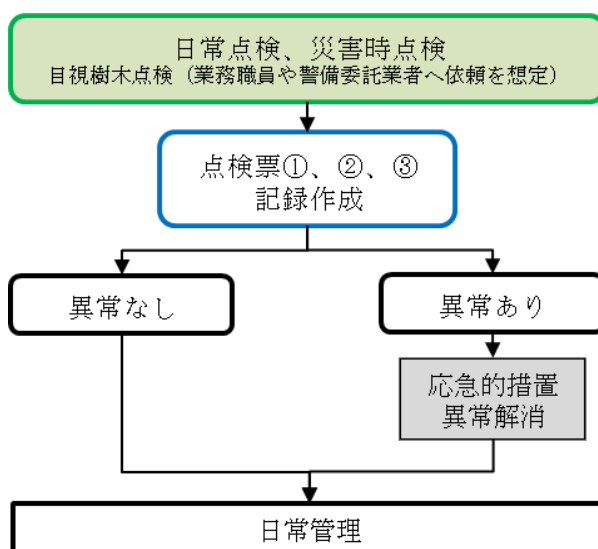


図5 日常・災害時点検の流れ

### 定期点検（専門家による点検）

最大5年に1回行う点検で専門家へ委託する。点検範囲は熊本市管理区域内に植生する高木すべてに対して実施する。点検樹木に対して「点検票①点検一覧票」、「点検票③各視点場確認票」及び「点検票④定期点検票」を作成し記録する。また、古樹・大樹においては詳細点検の実施の必要性について判断を行う。作成する定期点検票について表3に、図6に定期点検の流れについて示す。

表3 定期点検票の作成について

定期点検	(1)一般樹木	(2)記念樹・寄贈樹	(3)古樹・大樹
点検票①	点検樹木すべてを記録		
点検票③	点検実施時に作成		
点検票④	点検樹木すべてを記録		

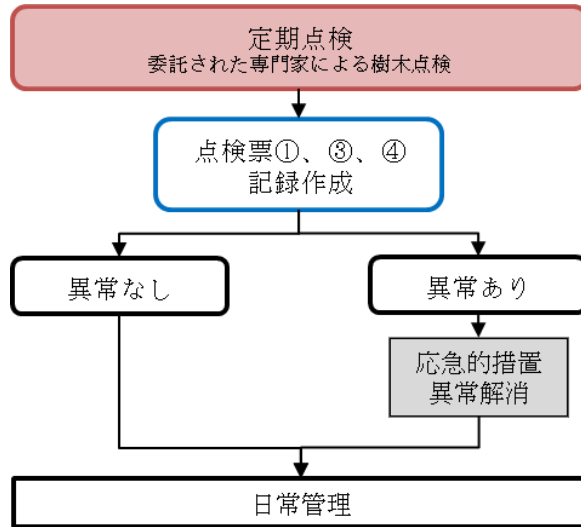


図6 定期点検の流れ

**詳細点検（専門家による点検）**

定期点検で異常が確認され原因究明が必要と判断された古樹・大樹に対して実施する。専門家への委託を行い点検結果から総合的な対応を検討する。点検樹木に対して「点検票①点検一覧表」「点検票⑤詳細点検票（古樹・大樹）」を作成し記録する。点検結果のまとめ方について表4に、点検の流れについて図7に示す。

表4 詳細点検票の作成について

詳細点検	(1)一般樹木	(2)記念樹・寄贈樹	(3)古樹・大樹
点検票①	点検なし		点検樹木 すべてを記録
点検票⑤			

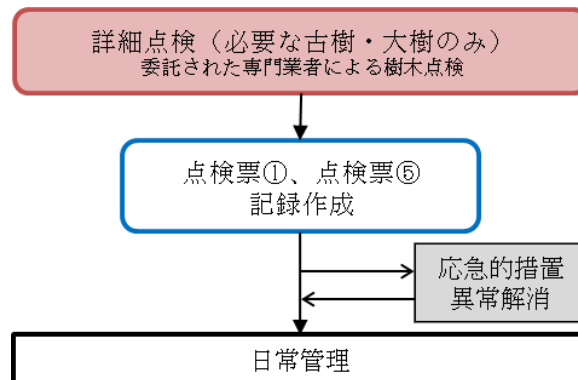


図7 詳細点検の流れ

### 定期点検・詳細点検実施者（専門家による点検）について

城内樹木の定期点検、詳細点検を実施する点検者は、樹木の生態や病理に精通した「樹木医」が行うものとする。併せて、樹木の倒伏や落枝が人身事故につながる危険性を有することに対して危険意識を持つとともに、樹木の生態も熟知した「街路樹診断士」の資格を有する者であることが望ましい。



点検票①点検一覧票

No.	樹種	樹木 部分	樹高	樹木位置		点検状況												備考 (点検票各付録項目の欄を記入)
				樹木番号	樹名	幹皮				樹冠				その他				
						目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	
1	一本榎木	1	ナナキ	-	-	B	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹幹が若干腐食して剥離しているが、腐朽の進行は緩やかに推移している。
2	一本榎木	2	サナラ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	幹の腐朽が目立つ。腐朽の程度を調べて記録したい。やや腐食が著しい。
3	一本榎木	3	ナナキ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	健全である。
4	一本榎木	4	ナナキ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	健全である。
5	一本榎木	5	ムナシ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	葉の下の幹にナナキの腐朽が認められている。1面程度の腐朽の分布が確認されている。大枝の上段の腐朽は、
6	一本榎木	6	ムナシ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	大枝の腐朽が確認されている。大枝と新枝の腐朽は異なる。
7	一本榎木	7	エノキ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	健全である。
8	一本榎木	8	ナナキ	-	-	B	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹幹がやや腐食する。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。腐朽の進行は緩やかに推移している。
9	一本榎木	9	ナナキ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	健全である。樹上には腐朽の進行が認められる。
10	一本榎木	10	サナラ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	大枝の腐朽が確認されている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
11	一本榎木	11	サナラ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	大枝の腐朽が確認されている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
12	一本榎木	12	サナラ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹の腐朽が確認されている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
13	一本榎木	13	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
14	一本榎木	14	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
15	一本榎木	15	サナラ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
16	一本榎木	16	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹の腐朽が確認されている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。腐朽の進行は緩やかに推移している。
17	一本榎木	17	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
18	一本榎木	18	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
19	一本榎木	19	サナラ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
20	一本榎木	20	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
21	一本榎木	21	サナラ	-	-	O	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
22	一本榎木	22	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
23	一本榎木	23	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
24	一本榎木	24	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
25	一本榎木	25	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
26	一本榎木	26	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
27	一本榎木	27	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
28	一本榎木	28	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
29	一本榎木	29	サナラ	-	-	O	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。
30	一本榎木	30	サナラ	-	-	A	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	樹冠にコナラ等の腐朽が認められている。腐朽の程度を調べて記録したい。腐朽の進行は緩やかに推移している。



点検票②日常・災害時点検票（写真票）※異常が確認された樹木の全景と異常部

点検日	年 月 日	天候	晴・曇・雨・雪
巡回時間	: ~ :	巡回者	
点検種類	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 災害時点検	気温	℃
巡回場所	<input type="checkbox"/> 本丸 <input type="checkbox"/> 二の丸 <input type="checkbox"/> 三の丸 <input type="checkbox"/> 千葉城 <input type="checkbox"/> 古城		

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検樹木		No.
樹木区分: <input type="checkbox"/> 一般樹 <input type="checkbox"/> 記念・奇蹟樹 <input type="checkbox"/> 古樹		
工区/番号: 工区-		樹種名:
(全景)	(異常部)	

点検票③各視点場確認票（表面）

(5)各視点場からの眺望

視点場 ①通町電停付近	視点場 ②桜町交差点付近
<p style="text-align: center;">写真</p>	<p style="text-align: center;">写真</p>
<p>考察, 樹木番号</p>	<p>考察, 樹木番号</p>

巻末資料

資料③ 熊本城樹木点検のてびき

点検票③各視点場確認票（裏面）

視点場 ③加藤神社鳥居横	視点場 ④備前堀縁
写真	写真
考察, 樹木番号	考察, 樹木番号
視点場 ⑤二の丸広場	視点場 ⑥竹の丸
写真	写真
考察, 樹木番号	考察, 樹木番号
視点場 ⑦棒庵坂下	視点場 ⑧千葉城橋際
写真	写真
考察, 樹木番号	考察, 樹木番号

点検票④定期点検票

個票No.

点検箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 本丸 <input type="checkbox"/> 二の丸 <input type="checkbox"/> 三の丸 <input type="checkbox"/> 千葉城 <input type="checkbox"/> 古城	点検日時	令和 年 月 日( )			
点検樹木	<input checked="" type="checkbox"/> 古樹 <input type="checkbox"/> 一般樹木 <input type="checkbox"/> 記念樹・寄贈樹	天気	晴・曇・雨・雪			
工区・樹木番号	1 工区- 1111	樹種名	クスノキ			
【共通項目】		判定	異常箇所の写真またはスケッチ(全景、異常箇所詳細等)			
		無 有 重度	全景			
(1)	倒伏、落ち枝による利用障害	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 			
(2)	落枝、ぶら下がり枝(かかり枝)で落ち枝危険性の高いもの	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(3)	視距の障害	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(4)	突出枝	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(5)	各視点場からの眺望	点検票③参照				
【特別項目】		判定	スケッチ等			
		無 有 重度				
(6)	重要文化財建造物等に影響	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(7)	石垣、露出遺構(礎石・溝等)に影響	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(6),(7)影響状況考察		離隔: 5 m				
石垣上に植生し石垣を巻き込んでいる						
根の発達に伴い、今後遺構を破壊していく可能性がある						
【専門項目】		健全度判定	異常箇所の症状(点検項目Noとその進捗状況や規模等)とその対策			
		A B C D	(2) 枯れ枝があり、落下の危険性あり			
(8)	樹幹の揺らぎ	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	(4) 高さ2.5m以下に多くの枝が突出しており通行者へ支障あり 現場にて対応済。			
(9)	樹幹の不自然な傾斜	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	(10) 一番下の枝分かれ箇所に樹幹亀裂あり。進行すれば倒木の危険あり 幅300mm、延長1000mm			
(10)	樹幹の亀裂	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	(11) 根元に少量のベッコウダケ発生 直径5cmが2本程度、撤去済			
(11)	樹幹・大枝・地際のキノコ	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	(5) 8景観ポイント内の視点場①からの眺望を阻害しそう 近年中に対応が必要			
(12)	樹勢	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
(13)	樹形	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
【専門項目】		判定				
		無 有 重度				
(14)	建築限界の侵害(2.5m以下に枝が突出)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	総合判定			
(15)	支柱の腐朽・損傷・浮上・結束緩み	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	A 健全 <input type="checkbox"/> B 健全に近い <input type="checkbox"/> C 要注意 <input type="checkbox"/> D 危険木 <input type="checkbox"/>			
(16)	支柱の樹幹への食込み	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	応急的措置 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 詳細点検 ※古樹のみ <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/>			
(17)	舗装部の根上がり	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	特記事項(応急的措置・詳細点検が必要な理由及びその方法等) 枯れ枝の撤去(高所作業車必要)			
(18)	踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	樹木亀裂の対応が必要。倒木の危険もあるため早期対応を望む 状態が非常に悪く、延命措置のために原因を究明する必要がある			
(19)	利用者に被害を及ぼすおそれのある実生樹木	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				

判例 健全度判定に係る評価基準

A	変状及び異常なし
B	変状及び異常が認められるが、危険性はない
C	危険性を有しているが、すぐには倒伏(枝折れ)しない
D	非常に高い危険性があり、すぐに倒伏(枝折れ)するおそれがある

判例 総合判定基準

A	健全度判定の全ての項目がA
B	健全度判定のいずれかの項目にBがある
C	健全度判定のいずれかの項目にCがある
D	健全度判定のいずれかの項目にDがある

巻末資料

資料③ 熊本城樹木点検のてびき

点検票⑤詳細点検票（古樹・大樹）

個票No.

点検箇所	<input type="checkbox"/> 本丸 <input type="checkbox"/> 二の丸 <input type="checkbox"/> 三の丸 <input type="checkbox"/> 千葉城 <input type="checkbox"/> 古城	点検日時	令和 年 月 日( )
点検樹木	<input type="checkbox"/> 古樹	天気	晴・曇・雨・雪
工区・樹木番号	工区-	樹種名	
点検者	所属 氏名		

【専門・詳細項目】				
健全度判定に係る事項	(8) 樹幹の揺らぎ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
	(9) 樹幹の不自然な傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
	(10) 樹幹の亀裂	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
	(11) 樹幹・大枝・地際のキノコ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
	(12) 活力度	樹勢(枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等)	判定 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	
		樹形(主幹、骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、葉の密度と配置等)	判定 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	
	(20) 芯に連した開口空洞	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
		芯に連しない開口空洞	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	
	(21) 腐朽部露出	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
		樹皮枯死・欠損	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
	(22) 結合部の変状及び異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
	(23) 穿孔害虫	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	
	(24) 根張り(ルートカラー)	<input type="checkbox"/> 見える <input type="checkbox"/> 見えない	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C	
	(25) 打診音異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	
(26) 貫入異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	判定 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		
その他事項	(2) 枯れ枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	数( 本)枝径(最大 cm)	
	ぶら下がり枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (部位: )	数( 本)枝径(最大 cm)	
	(6) 重要文化財建造物等に影響	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (考察)		
	(7) 石垣、露出遺構(礎石・溝等)に影響	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
	(15) 建築限界の侵害(2.5m以下に枝が突出)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
	(16) 支柱の腐朽・損傷・浮上・結束緩み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
(17) 支柱の樹幹への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
(18) 舗装部の根上がり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
(19) 踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
判定	(28)機器診断の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 ( )	<input type="checkbox"/> 不要	
	応急的措置の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 ( )	<input type="checkbox"/> 不要	

(28)【機器診断】			
実施日	令和 年 月 日( )	診断書No.	
実施者	(所属)	代表者氏名	
実施方法			
診断結果	部位(GL m)	部位(GL m)	
判定	<input type="checkbox"/> 本格的措置は不要	<input type="checkbox"/> 本格的措置が必要	<input type="checkbox"/> 経過観察が必要
判定理由			

【総合判断】			
判定日	令和 年 月 日( )		
健全度判定	<input type="checkbox"/> A健全	<input type="checkbox"/> B健全に近い	<input type="checkbox"/> C要注意 <input type="checkbox"/> D危険木
判定理由 総合所見			
本格的措置の必要性	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
本格的措置の内容	<input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 植替え <input type="checkbox"/> 危険部位除去( ) <input type="checkbox"/> 撤去		
	<input type="checkbox"/> 支柱補強 <input type="checkbox"/> 支柱撤去 <input type="checkbox"/> 踏圧防止板補強 <input type="checkbox"/> 踏圧防止板撤去		
	<input type="checkbox"/> 土壌改良 <input type="checkbox"/> 施肥( ) <input type="checkbox"/> 薬剤処理( ) <input type="checkbox"/> その他( )		
経過観察の内容	次回点検の時期と内容( )		
本格的措置の実施記録	実施日	令和 年 月 日( ) ~ 令和 年 月 日( )	
	実施内容		
経過観察の実施記録	実施日	令和 年 月 日( )	所見
		令和 年 月 日( )	
		令和 年 月 日( )	

参考資料 (1) 特別史跡熊本城跡保存活用計画 (抜粋)

2 緑の保存管理の考え方

特別史跡内に存在する樹木を分類し、所有者や管理者が行うべき適切な保存管理の考え方を以下のとおり定める。

現状	本てびきにおける定義		
	古樹・大樹	記念樹 寄贈樹	
植栽	幕末以前から存在すると 思われる樹木	公園整備等により植樹され た樹木	近代以降に自生し成長した 樹木
健全に生育し遺構・眺望の保全や見学者の安全に影響を与えていない樹木	適正な管理を行い、生育環境の保全に努める。	成長等により樹木が過密状態となっているものは、樹種による植付け間隔を検討し、剪定・移植・伐採により過密化を解消する。	
防災・安全上の危険樹木	来園者への安全確保のため、枯損木・枯れ枝等について倒木や落枝の危険性などがある場合、必要に応じて専門家による診断・剪定等の適切な処置を行う。		
石垣・建造物等に影響を及ぼしている樹木	影響が最小限になるような対策を講じ、できる限りの共存を図る。 専門家による評価・検討の上、剪定・移植・伐採等の適切な処置を行う。	専門家による診断・検討の上、剪定・移植・伐採等を実施する。	
眺望を阻害する樹木	「視点場」(※)を設定し、必要に応じて剪定を実施する。	「視点場」(※)を設定し、必要に応じて剪定・移植・伐採等を実施する。	
枯れ・腐朽菌・白蟻により外観の異常が確認できる樹木	樹勢回復等の適切な措置を行う。回復が不可能と思われるものについては、専門家による診断・検討の上、処置方法を決定する。		
踏圧や栄養不足等により樹勢が衰弱している樹木			
外来種 (国内導入から長い歳月を経て日本の風土や史跡の景観に馴染んでいる種を除く)	—	旺盛な繁殖力等により史跡や在来種に影響を及ぼす恐れがある種について伐採等を検討する(監物台樹木園を除く)。	

上の表は特別史跡内における考え方であるが、次項で視点場を設定するように、熊本城の景観は特別史跡外の景観の変化にも影響を受けるものである。このため、旧城域全域においても所有者や管理者に対し、適切な緑の保存管理に努め、熊本城と緑の調和が図れるよう促していく。



## 参考資料(2) 各点検における点検項目詳細

各点検時に実施する点検項目の詳細は「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)平成29年9月 国土交通省」を参照する。また、熊本城における独自の点検項目として以下を追加する。

### 【共通項目】(5) 各視点場からの眺望

特別史跡熊本城跡保存活用計画(平成30年3月)に基づき、周囲からの視点場確認として熊本城内・城外周辺に設定した8箇所の視点場からの景観状況を確認する。大天守や宇土櫓の復旧後は、内部からの眺望を確保するための視点場(㉑～㉒)を設定し、各視点場からの眺望の確認も行う。表5に本丸地区を外郭から望む視点場、表6に本丸地区内建造物から望む視点場、図9に視点場設定箇所を示す。代表的な視点場は表5、表6のとおりとするが、その他の場所からも眺望に配慮し、対応が必要な場合は随時対応を行う。

表5 熊本城内・城外周辺より本丸地区を外郭から望む視点場

視点場	概要
1. 通町電停付近	大天守、本丸御殿大広間、源之進櫓等が望める 現状：東竹の丸の樹木繁茂が顕著
2. 桜町交差点付近	大天守、飯田丸五階櫓、馬具櫓等が望める 現状：樹木の繁茂が顕著で道路照明灯が視覚に入る
3. 加藤神社鳥居横	宇土櫓、大小天守、熊本城の高石垣が望める人気の撮影ポイント 現状：加藤神社側法面の樹木により視界を阻害
4. 備前堀縁	飯田丸五階櫓と備前堀、後方に大天守が望める 現状：備前堀が水鏡となり復元した櫓塀が映る
5. 二の丸広場	空堀越しに復元した西出丸塀を前面に宇土櫓、大小天守が望める撮影ポイント
6. 竹の丸	難攻不落を象徴する石垣の重なりがよく解り、大天守や本丸御殿の屋根が確認できる絶好の撮影ポイント 現状：桜の季節には彩を添える 落葉樹の大木があり、若干視線を阻害
7. 棒庵坂下	櫓方三階櫓台石垣の直線と大小天守北面が望める 現状：樹木が繁茂し視界を遮る
8. 千葉城橋際	大天守、復元した長局櫓、重要文化財建造物の源之進櫓の屋根が望める 現状：樹木が繁茂し視界を遮る

表6 本丸地区内の建造物から望む視点場

視点場	概要
㉑～㉒大天守最上階	城域内や城下の様子が望める 明治初期の古写真との対比により時代の変遷が判る
㉓～㉔宇土櫓最上階 ※(復旧後)	明治初期に撮影された大小天守と同じアングルで撮影できる 空堀や塀により西出丸、二の丸、西方の山々が望める 空堀や塀などにより当時の防衛線が確認できる

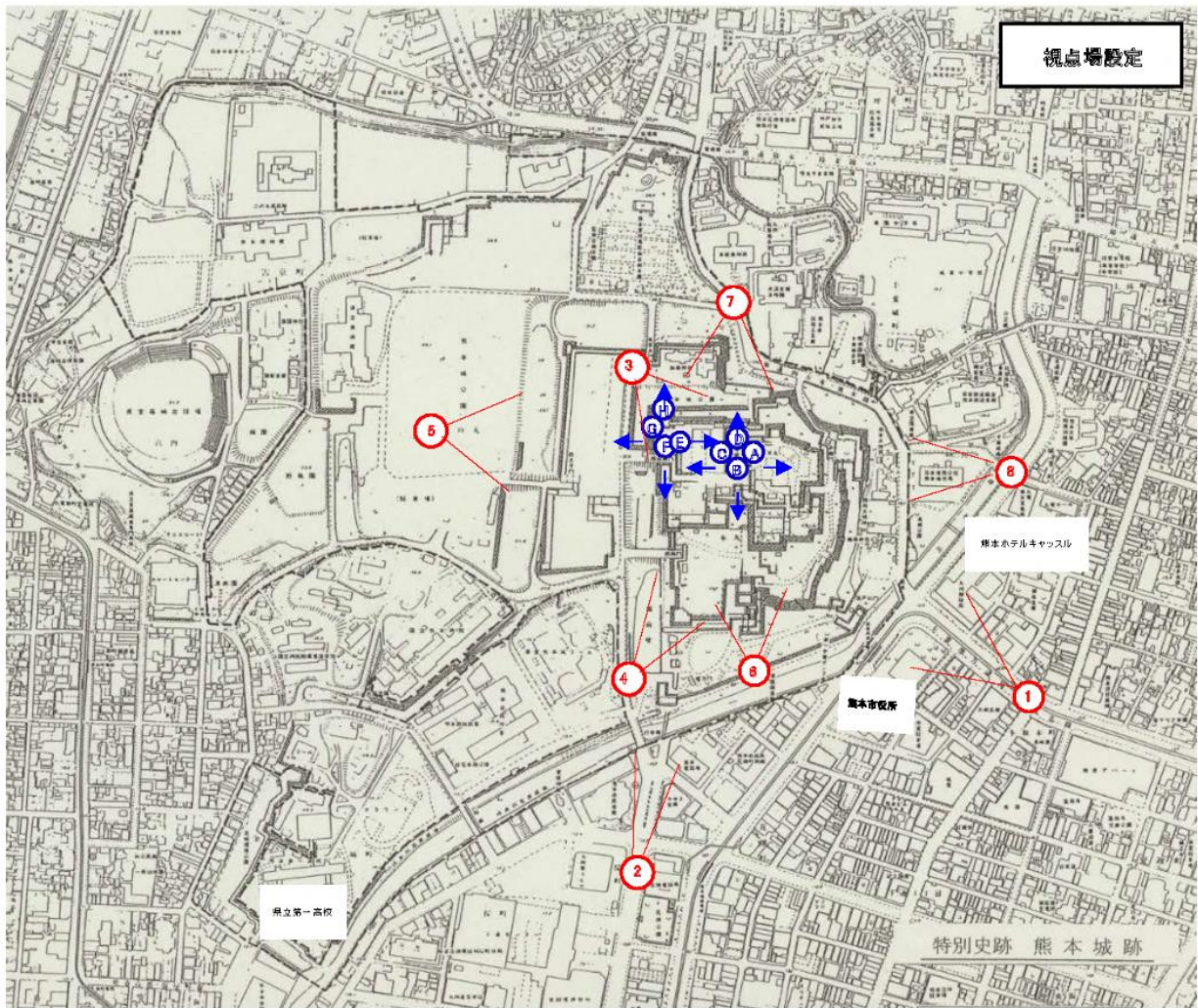


図9 視点場設定箇所

(その他の視点場)

以下のその他の視点場についても必要があれば確認し眺望の確保に努めるよう検討する。

その他の視点場：市役所 14F、特別見学通路内視点場等

### 【特別項目について】

特別項目については特別史跡内であることを考慮し、「文化財の毀損を未然に防ぐ」、「文化財の被害を最小限にとどめる」、「文化財の安全な公開」、「特別史跡に相応しい景観を保つ」を目的として点検を行う。上記の目的を達成するために①重要文化財建造物等、②石垣・土塁、露出遺構（礎石・溝等）に対して、樹木と対象物が接触している場合や明らかに影響を及ぼしているかを確認する。

### 【特別項目】（6）重要文化財建造物等に影響

城内の13棟の国指定重要文化財建造物や県指定重要文化財建造物（旧細川刑部邸）、歴史的建造物、復元建造物に対して近接樹木の影響状況を確認する。既に影響を及ぼしている樹木に関しては早急に対処策を検討する。また、今後影響が発生しそうな樹木についても考察を行い、その対処策を検討する。

確認項目は建造物近接樹木<sup>(※注1)</sup>かどうかの判断、建造物と樹木の離隔、建造物への樹木の影響状態について考察を行う。重要文化財建造物等付近には放水銃・消火栓等が設置してあるため、樹木が消火作業の際に障害とならないよう考察も行う。また、建造物近接樹木へ落雷した場合、樹木からの延焼も懸念されることから、建造物との離隔を確認し記録を行う。建造物近接樹木の倒伏・落枝等が生じると建物破損や倒壊の要因となるため、建造物近接樹木については慎重に定期点検を実施する。重要文化財建造物等の位置を図10に示す。

（※注1）重要文化財建造物等に樹冠が被る樹木、重要文化財建造物等から樹木幹部分までの離隔が樹高以下の樹木（例：樹高5.0mならば重要文化財建造物等から樹木幹部分までの離隔が5.0m以内に植生する樹木は対象とする）

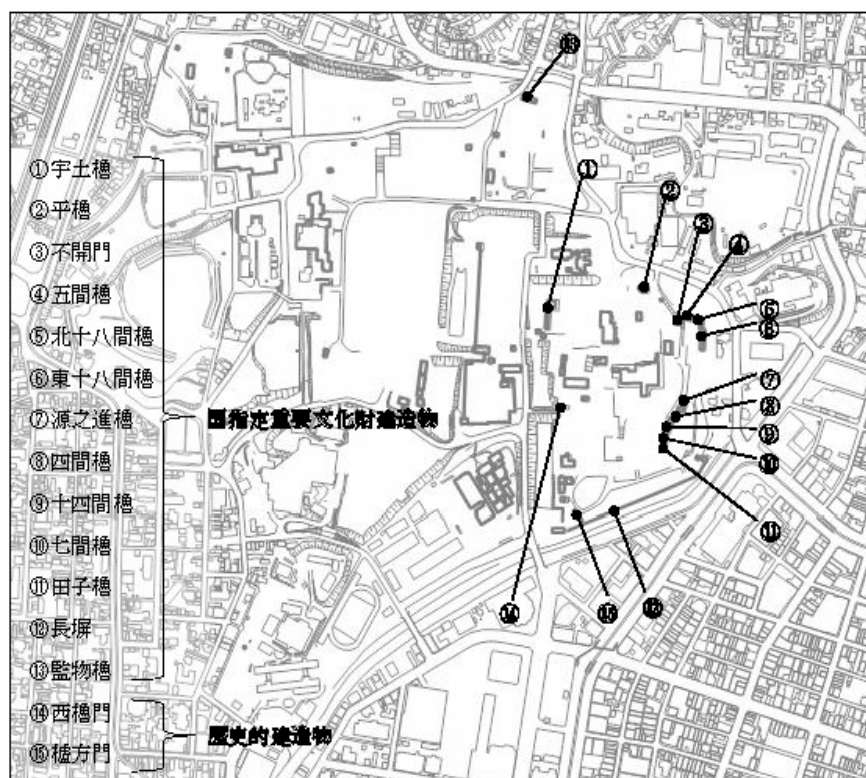


図10 重要文化財建造物等位置図

【特別項目】（7）石垣、露出遺構（礎石・溝等）に影響

石垣、露出遺構（礎石・溝等）周辺の樹木について各影響状況を確認する。対象物への圧迫や巻き込みなどがあるか確認を行い、既に対象物へ影響を及ぼしているものについては考察を行い、緊急を要する場合は対応策を検討する。また、今後影響が発生しそうな樹木についても考察を行い、その対応策を検討する。

石垣の位置を図11、露出遺構（礎石・溝等）の主な位置を図12に示す。

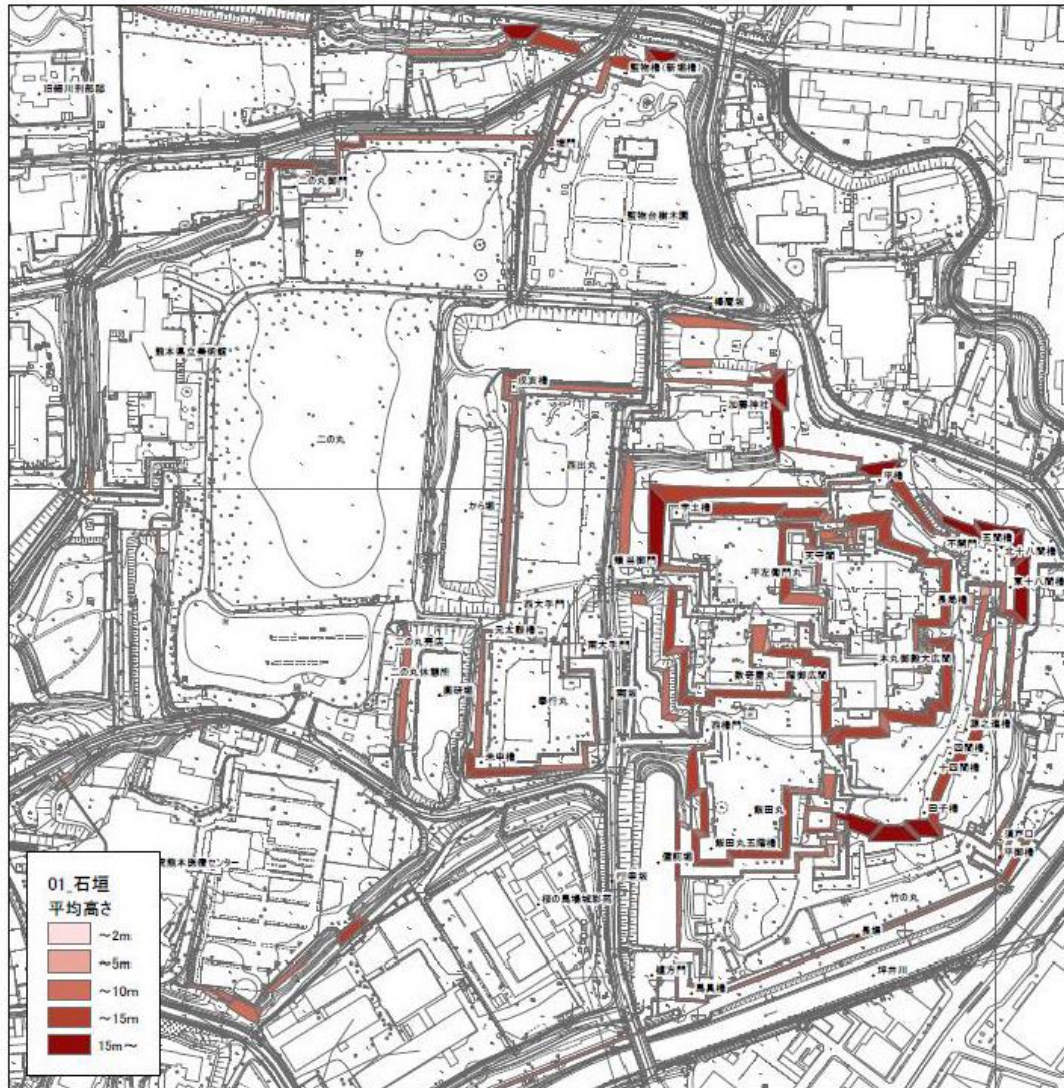


図11 石垣位置図

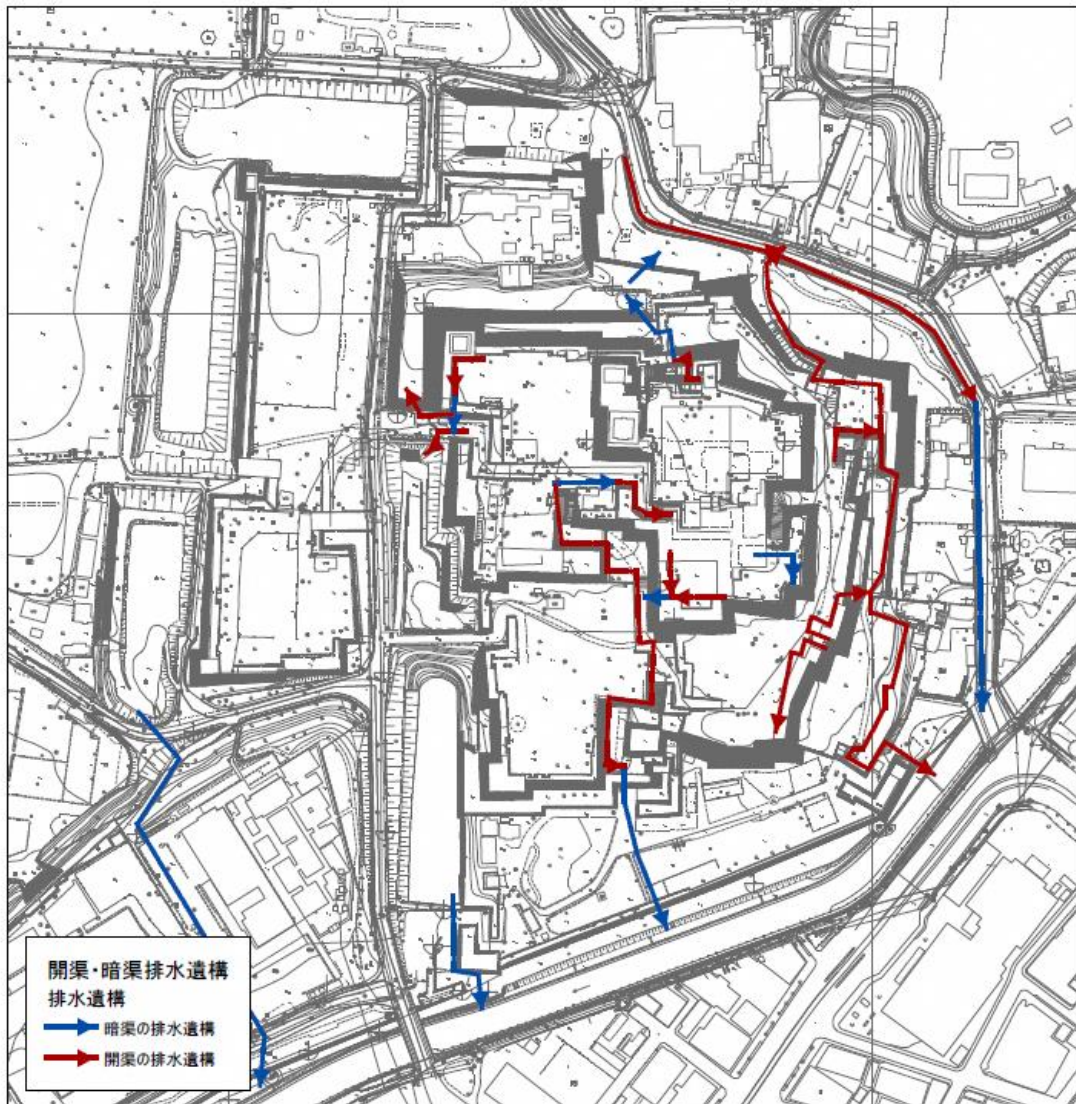


図12 露出遺構（礎石・溝等）位置図

## 【資料④ 市民アンケート結果】

市民アンケートの実施について（まとめ）

「熊本城みどり保存管理計画」の検討段階で市民・来城者・関係者の意見を把握し、計画に反映するために各種アンケートを実施した。

以下にその概要をまとめ、アンケート毎にその結果を掲載する。

### ① 熊本城に関連する団体、施設管理者等へのアンケート

アンケートの主な内容	安全、遺構保護、桜の保護（②のアンケートと同じ内容）
実施期間	令和3年11月1日～同25日
実施方法	熊本城内・周辺施設の管理者や熊本城に関連のある団体に対しアンケートを依頼し回収した。
実施団体	14団体
回答者数	130人

### ② 入園者（有料区域への入園者）へのアンケート

アンケートの主な内容	安全、遺構保護、桜の保護（①のアンケートと同じ内容）
実施期間	令和3年11月9日～同18日
実施方法	熊本城内3カ所（北口券売所・二の丸券売所・未申櫓下受付テント）にて10日間、入園者に対しアンケート記入を呼びかけ、その場で記入していただき回収した。
回答者数	202人

### ③ 中央区民へのアンケート

アンケートの主な内容	安全、遺構保護、桜、古樹、景観
実施期間	令和4年1月17日～同2月8日
実施方法	中央区在住の18歳以上の区民800名を無作為抽出により選出。アンケートを郵送し、返信により回収した。
回答者数	306人

### ④ 緑化フェア来場者へのアンケート

アンケートの主な内容	景観
実施期間	令和4年3月19日～同5月22日（全国都市緑化くまもとフェア期間）
実施方法	緑化フェア期間中、会場に計画策定に関するパネル展示を行った。その中で、パネルにアンケートのQRコードを貼り付け、回答を呼びかけた。回答者は、スマートフォンでQRコードを読み取り、アンケート画面に接続し、フォームに沿って回答していただいた。
回答者数	1,546人

- ① 熊本城に関連する団体、施設管理者等へのアンケート
- ② 入園者（有料区域への入園者）へのアンケート

## 質問事項と結果

## 熊本城の樹木に関するアンケートのお願い

この度はアンケートにご協力頂きありがとうございます。

このアンケートは今後の熊本城内樹木の管理方法やサービスの向上のために利用いたします。該当するものを○で囲んでください。

ご性別	男性	女性	その他	回答しない	
ご年代	10代未満	10代～20代	30～40代	50代～60代	70代以上
お住まい	熊本市内（中央区・東区・南区・西区・北区）			熊本県内（市・町・村）	
	熊本県外（			都・道・府・県）	
				海外	

### 【質問1】熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？（複数回答可）

1. 季節感(花見や紅葉等)	2. 緑陰(日陰)	3. 美しい景観	4. ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善
5. 野鳥など、生物の住处	6. その他（	）	

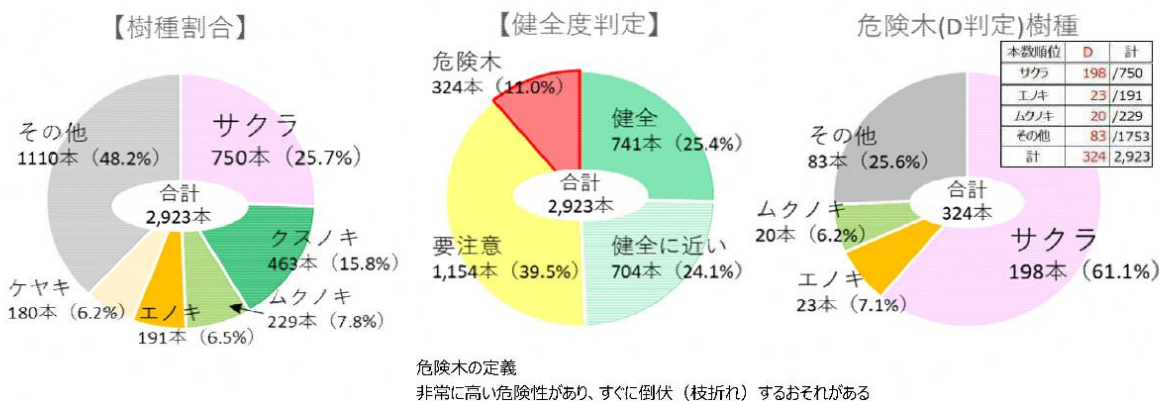
昨年度実施した樹木医による樹木点検の結果、城内には高さ3.0m以上の樹木が**2,923本**あることが分かりました。

そのうち、約**1割（324本）**の樹木が今にも倒れる可能性がある**危険木（伐採予定）**として判定されました。

また、その他にも約**1割**の樹木が**文化財に影響を及ぼしている**ということも確認されました。

今後そのような異常を有した樹木に対しては、根元から切る（伐採）、枝を落とす（剪定）を含め、適正な保存管理を検討していく予定です。下記の検討内容についてどう感じますか？

○熊本城内の樹木点検の結果



### 【質問2】危険木については、安全確保のため根元から切る（伐採）ことも仕方ないと思いませんか？

1. はい	2. いいえ	3. その他（	）
-------	--------	---------	---

### 【質問3】サクラは城内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。

サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？

1. はい	2. いいえ	3. その他（	）
-------	--------	---------	---

裏へ続きます⇒



【質問4】倒木すると"文化財建造物"に被害が生じる可能性がある、樹木の根が"石垣"を押して崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る（伐採）ことも仕方ないと思いますか？

1. はい                      2. いいえ                      3. その他（                      ）



（文化財建造物沿いでの倒木）



（成長し石垣を押す樹木）



（石垣から生えている樹木）

【質問5】熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？

1. 安全性                      2. 遺構（歴史的建造物や石垣）の保護                      3. 景観  
4. その他（                      ）

【質問6】熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください

Empty text box for providing opinions on the trees and greenery of Kumamoto Castle.

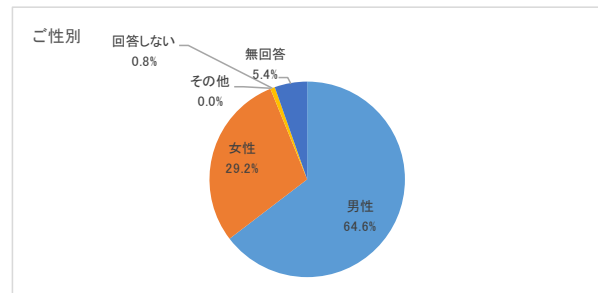
ご協力いただきありがとうございました。

①熊本城に関連する団体、施設管理者等へのアンケート(結果)

調査対象		回答数
①	一新校区	44
	城彩苑内の企業	17
	国立病院	5
	加藤神社	5
	護国神社	5
	稲荷神社	1
	熊本大神宮	5
	県立美術館	5
	KKRホテル	5
	熊本市博物館	5
	リブワーク藤崎台球場運営者	5
	よかとこ案内人	8
	上通・下通商工会	10
	植物同好会	10
	合計	130

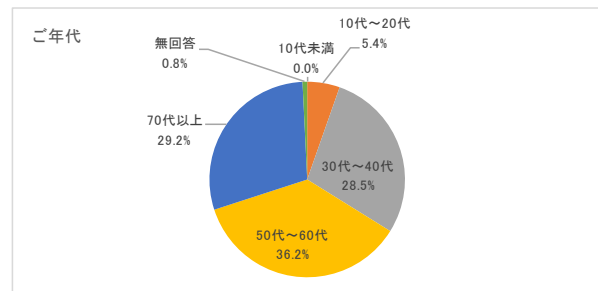
ご性別 (N=130)

	ご性別	件数	構成比
1	男性	84	64.6%
2	女性	38	29.2%
3	その他	0	0.0%
4	回答しない	1	0.8%
	無回答	7	5.4%
	総計	130	100.0%



ご年代 (N=130)

	ご年代	件数	構成比
1	10代未満	0	0.0%
2	10代~20代	7	5.4%
3	30代~40代	37	28.5%
4	50代~60代	47	36.2%
5	70代以上	38	29.2%
	無回答	1	0.8%
	総計	130	100.0%



お住まい (N=130)

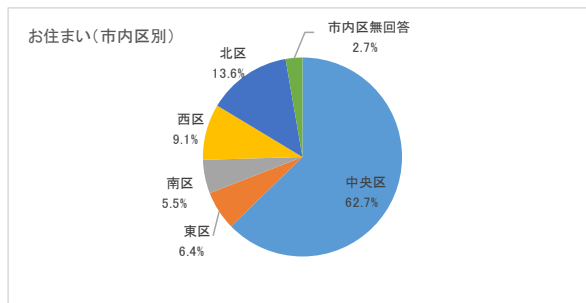
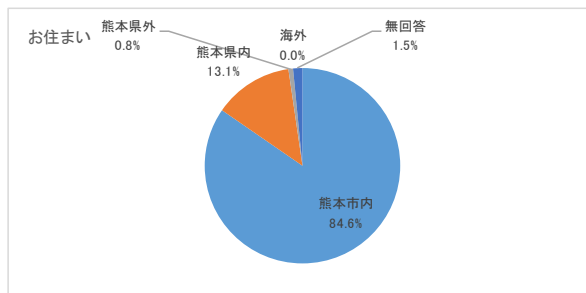
	お住まい	件数	構成比
1	熊本市内	110	84.6%
2	中央区	69	53.1%
3	東区	7	5.4%
4	南区	6	4.6%
5	西区	10	7.7%
6	北区	15	11.5%
7	市内区無回答	3	2.3%
8	熊本県内	17	13.1%
9	熊本県外	1	0.8%
10	海外	0	0.0%
	無回答	2	1.5%
	総計	130	100.0%

※熊本県内は、熊本市を除きます

	熊本県内	件数
1	宇城市	4
2	玉名市	1
3	合志市	4
4	宇土市	1
5	益城町	1
6	嘉島町	1
7	菊陽町	1
8	御船町	1
9	多良木町	1
10	大津町	1

※熊本県内回答時、熊本市記入のものは除く

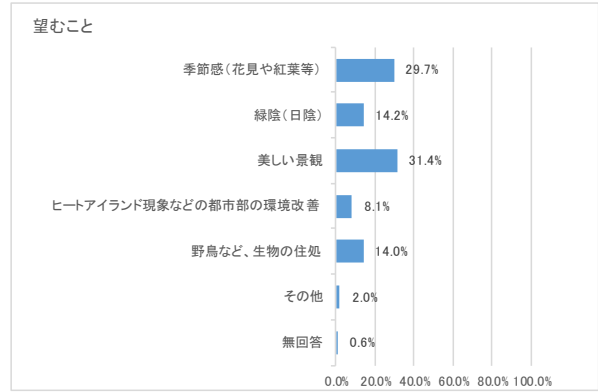
	熊本県外	件数
1	福岡県	1



※お住まい(市内区別)のグラフは、熊本市内(110件)の構成比を示す。

質問1 熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？(複数回答可) (N=130)

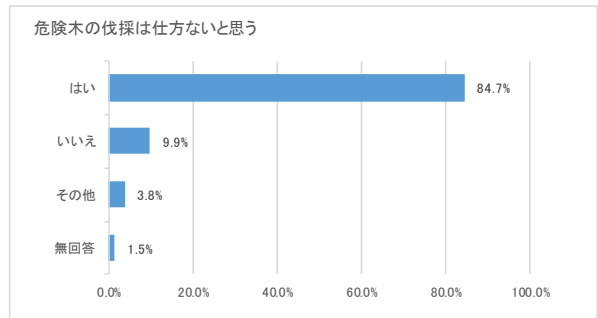
望むこと	件数	構成比
1 季節感(花見や紅葉等)	102	29.7%
2 緑陰(日陰)	49	14.2%
3 美しい景観	108	31.4%
4 ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善	28	8.1%
5 野鳥など、生物の住処	48	14.0%
6 その他	7	2.0%
無回答	2	0.6%
総計	344	100.0%



その他内訳	個数
1 文化財としての城のあり方に沿った緑の保全を考える必要がある。そもそも江戸期にどれだけ緑があったのかも示すことが必要。	1
2 熊本城の近くに住んでいてよく訪れますが一年を通して樹々のみどり、紅葉、満開の桜に季節を感じ、いやされています。	1
3 お城の本来の姿を見たい。	1
4 森の都(熊本市歌)	1
5 樹のいのち(その場で動かずして何10年何百年と生きてる証)植物のいのち、樹木医の指導をよく仰いでください。	1
6 適切な樹木の空間	1
7 歴史	1

質問2 危険木については、安全確保のため根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いますか？ (N=130)

危険木の伐採は仕方ないと思う	件数	構成比
1 はい	111	84.7%
2 いいえ	13	9.9%
3 その他	5	3.8%
無回答	2	1.5%
総計	131	100.0%



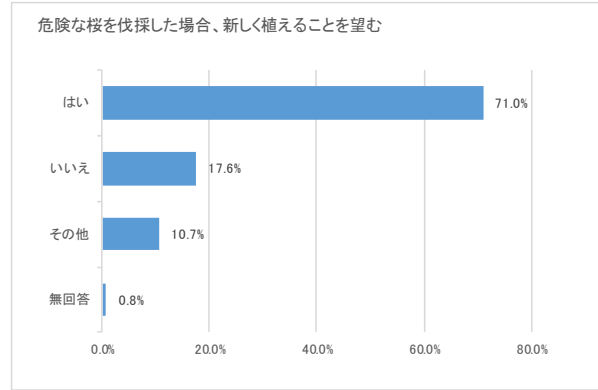
その他内訳	個数
1 できれば、復活させてあげたい	1
2 良く考えてから(調査)	1
3 専門的に●●●※しくみ	0
4 樹木それぞれの状況→記念樹であるか、そこに必要か見極めが肝要	1

※●: 解読不能(以下同じ)

質問3 サクラは場内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。

サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？ (N=130)

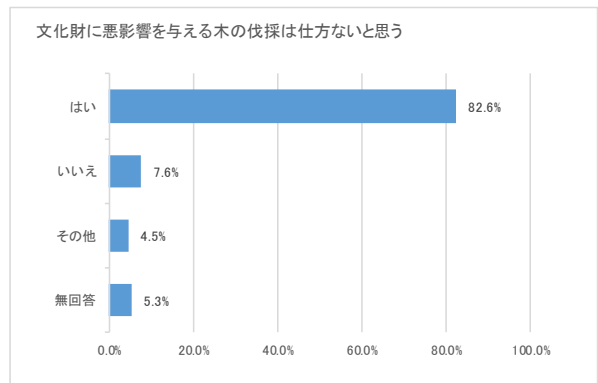
危険な桜を伐採した場合、新しく植えることを望む		件数	構成比
1	はい	93	71.0%
2	いいえ	23	17.6%
3	その他	14	10.7%
	無回答	1	0.8%
	総計	131	100.0%



その他内訳		個数
1	どちらともいえない	2
2	サクラを植える場所を考えて欲しい	1
3	その箇所の景観や機能に効果的であれば、悪さをしない場に復旧しても良いと思う。	1
4	チハラザクラを多く植える	1
5	ネットで覆う方法などを●●する	0
6	モミジを植えたらどうか？	1
7	樹木医の診断優先 医者には治すこと！！が第1切は次。	1
8	城全体の緑のあり様の検討にそったものであるべき。必ずしも新に植える必要はない。また、「サクラ」といっても多くの種がある。何を植えるかも検討すべき。	1
9	場所を考え植える	1
10	染井吉野以外の品種→複数のサクラの品種を植えることで長い期間サクラを鑑賞できることと、多様性を高めることで環境の変化に強い樹木帯を維持することができるのではないか。	1
11	全体のバランスを考えて植える。本数は少なくなくても可。	1
12	虫がつかないよう、管理できるなら植樹に賛成	1
13	必ずしもサクラでなくてよい	1

質問4 倒木すると”文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が”石垣”を押し崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？ (N=130)

文化財に悪影響を与える木の伐採は仕方ないと思う		件数	構成比
1	はい	109	82.6%
2	いいえ	10	7.6%
3	その他	6	4.5%
	無回答	7	5.3%
	総計	132	100.0%



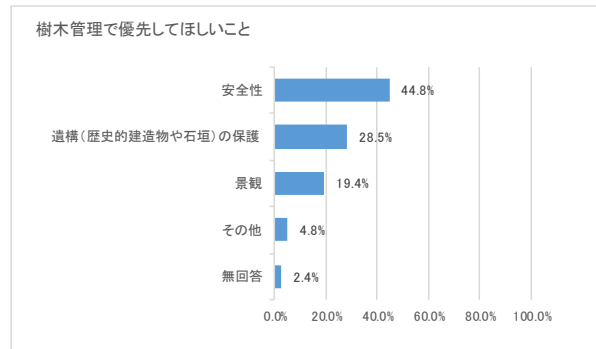
その他内訳		個数
1	分からない	1
2	(石垣から生えている樹木)みたいなもの周りに構築物等ないもの 枝下しですませてよいと思う	1
3	仕方ないとは思いますが残念。何か他に良い方法があれば。	1
4	根ごと撤去	1

① 熊本城に関連する団体、施設管理者等へのアンケート

質問5 熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？ (N=130)

樹木管理で優先してほしいこと	件数	構成比
1 安全性	74	44.8%
2 遺構(歴史的建造物や石垣)の保護	47	28.5%
3 景観	32	19.4%
4 その他	8	4.8%
無回答	4	2.4%
総計	165	100.0%

その他内訳	個数
1 景観及び合理性	1
2 病害や樹形の保護	1
3 文化財としての城の価値	1
4 1~3については大事だが巨木自体も文化的に大事。	1
5 1と3は関連があると思う	1
6 先人の植栽した経緯(県木・市木)その他検討の結果を忘れないこと。	1
7 北大手門跡近くのソメイヨシノの大枝にサルノコシカケが生えていました。台風等の影響を心配していましたが、早めに枝おろしをされたので安心しました。	1
8 観光客目線	1



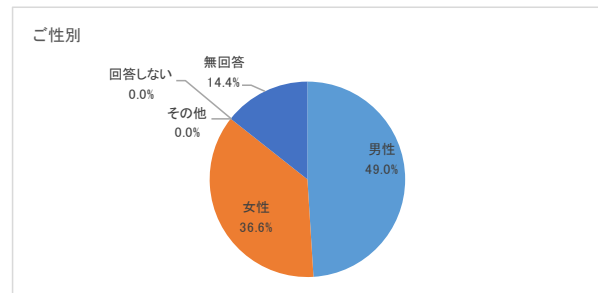
質問6 熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください(主なご意見を掲載)

1	もっと資金を集めて、樹木に対して、最良の環境が、できればいい。樹齢のある木を伐採するのは、どうにかできないか、考えてます
2	長年かけて成長した樹木を切るの簡単だが、育てるのは気の遠くなる程の年月を用するもの 考えてほしいと思います いつ迄も私達の森の都を大切にしたいものです
3	石垣の樹木は時をかけて少なくして行くこと。
4	熊本城と共に大きな楠の木など県民として、大切に思っています。事故のない様には考えて頂きたい
5	元々城内には樹木は少なかったと思いますので、適切な本数を考えて欲しいです。その場合、イメージ図があれば、分かりやすいです。
6	難しいことですが、要は景観と安全保護のバランスだと思います。文化財や人の安全に影響があつては全てが大なしですので、ある程度思い切った伐採は仕方ないことだと強く思います。(管理していない人、一回訪れたのみの美しさへのこだわりがある人の意見は違うのでしょうか・・・)
7	緑は城の原型とは異なるが、現代では景観としての役割も持っていると思う。文化財としての城を損わない形で緑はできるだけ残していきたい。
8	遺構を護りながら季節を感じることが出来る空間を望みます。
9	樹木は景観の点では良い効果もありますが、本来の城の機能の点で必要不可欠なものと、そうではないものもあると思います。その点は配慮したこと
10	熊本城内にある樹木も歴史を感じさせる貴重な財産です。文化財建造物に被害が生じる前の管理を徹底していただきながら、安全性や景観の維持をお願いします。
11	質問3に関して 行幸坂、桜の馬場、坪井川遊歩道は、以前より桜の名所として、県内外問わず認知されている。近年は桜の枯木も見られ、伐採も必要と考えるが、今後も名所としての存在を維持すべく、今までと変わらないまたはそれ以上の植林を行ってほしい。
12	伐採後の樹木のその後が気になる。再利用されているのですか？加工品にはできないのか？熊本城内に生息していた樹木の加工品ならば付加価値有ると思うので、ぜひ加工品に。
13	安全が優先すると考える。文化財保護で安全性が損なわれるのはおかしい。ただし景観ができるだけ変わらない様に。
14	樹木も大切ではあるが、遺構はとり返しのつかない大切なものである事を理解していただく必要がある。遺構の保護を優先していただきたい。

## ②入園者へのアンケート(結果)

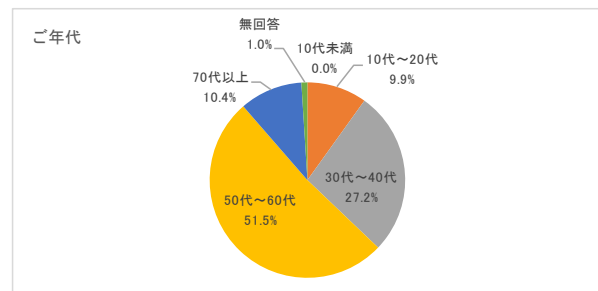
ご性別 (N=202)

	ご性別	件数	構成比
1	男性	99	49.0%
2	女性	74	36.6%
3	その他	0	0.0%
4	回答しない	0	0.0%
	無回答	29	14.4%
	総計	202	100.0%



ご年代 (N=202)

	ご年代	件数	構成比
1	10代未満	0	0.0%
2	10代～20代	20	9.9%
3	30代～40代	55	27.2%
4	50代～60代	104	51.5%
5	70代以上	21	10.4%
	無回答	2	1.0%
	総計	202	100.0%



お住まい (N=202)

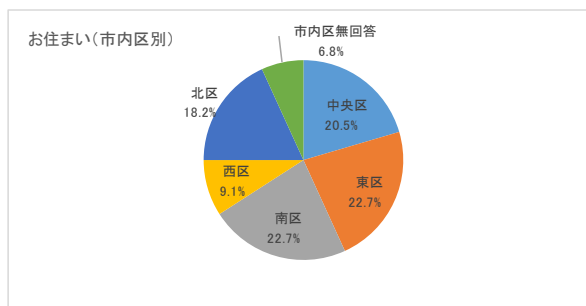
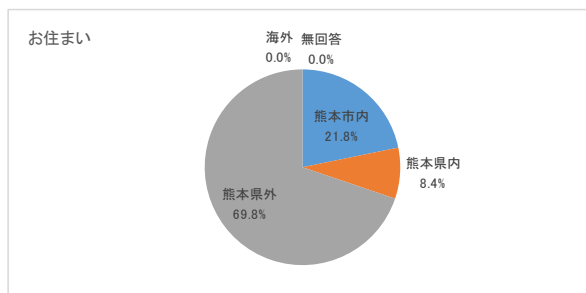
	お住まい	件数	構成比
1	熊本市内	44	21.8%
2	中央区	9	4.5%
3	東区	10	5.0%
4	南区	10	5.0%
5	西区	4	2.0%
6	北区	8	4.0%
7	市内区無回答	3	1.5%
8	熊本県内	17	8.4%
9	熊本県外	141	69.8%
10	海外	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	総計	202	100.0%

※熊本県内は、熊本市を除きます

	熊本県内	件数
1	宇城市	4
2	玉名市	4
3	宇土市	2
4	益城町	1
5	荒尾	1
6	合光市	1
7	合市	1
8	八代	1

※熊本県内回答時、熊本市記入のものは除く

	熊本県外	件数
1	福岡県	23
2	東京都	16
3	神奈川県	12
4	愛知県	9
5	埼玉県	8
6	広島県	7
7	鹿児島県	5
8	千葉県	5
9	長崎県	5
10	佐賀県	4
11	石川県	4
12	大阪府	4
13	大分県	4
14	兵庫県	4
15	沖縄県	3
16	岐阜県	3
17	静岡県	3
18	鳥取県	3
19	福島県	3
20	北海道	3
21	山形県	2
22	茨城県	1
23	岡山県	1
24	宮崎県	1
25	群馬県	1
26	三重県	1
27	山口県	1
28	奈良県	1



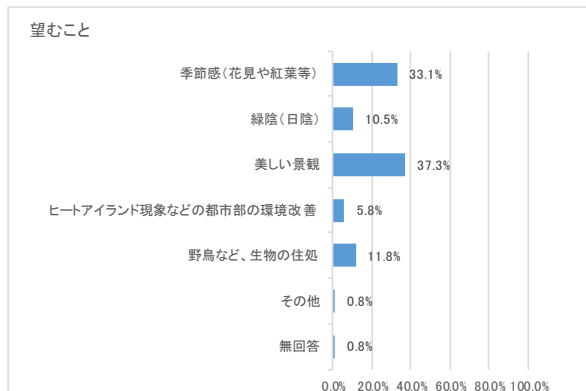
※お住まい(市内区別)のグラフは、熊本市内(44件)の構成比を示す。



質問1 熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？(複数回答可) (N=202)

望むこと	件数	構成比
1 季節感(花見や紅葉等)	126	33.1%
2 緑陰(日陰)	40	10.5%
3 美しい景観	142	37.3%
4 ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善	22	5.8%
5 野鳥など、生物の住処	45	11.8%
6 その他	3	0.8%
無回答	3	0.8%
総計	381	100.0%

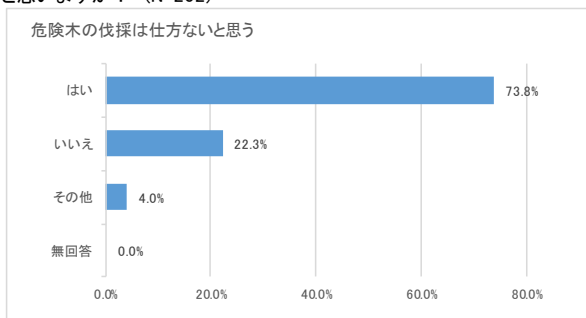
その他内訳	個数
1 浄化作用ー地球全体	1
2 森の都のシンボル	1
3 お城100選	1



質問2 危険木については、安全確保のため根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いますか？ (N=202)

危険木の伐採は仕方ないと思う	件数	構成比
1 はい	149	73.8%
2 いいえ	45	22.3%
3 その他	8	4.0%
無回答	0	0.0%
総計	202	100.0%

その他内訳	個数
1 なるだけ原木を残してほしい	1
2 必要な場所だけ切る	1
3 時と場合による	1
4 補強対策をとる	1
5 樹木医に相談しては？	1

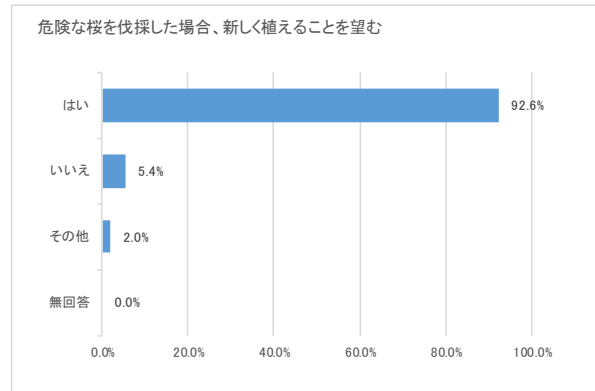


質問3 サクラは場内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。

サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？ (N=202)

	危険な桜を伐採した場合、 新しく植えることを望む	件数	構成比
1	はい	187	92.6%
2	いいえ	11	5.4%
3	その他	4	2.0%
	無回答	0	0.0%
	総計	202	100.0%

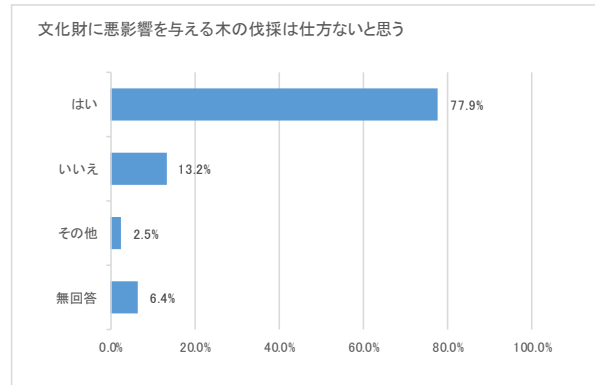
	その他内訳	個数
1	わからない	1
2	桜は弱いのもみじとかは？	1
3	場所を限定して植えて欲しい	1



質問4 倒木すると”文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が”石垣”を押して崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？ (N=202)

	文化財に悪影響を与える木の伐採は 仕方ないと思う	件数	構成比
1	はい	159	77.9%
2	いいえ	27	13.2%
3	その他	5	2.5%
	無回答	13	6.4%
	総計	204	100.0%

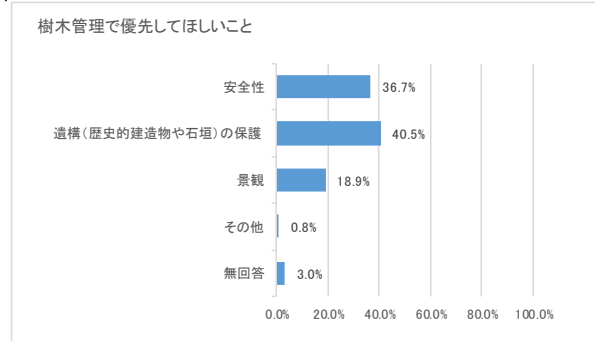
	その他内訳	個数
1	子枝を生かす方法？	1
2	切ったあとのしよりを(土・みため)すみやかにみばえよく	1
3	なるべく植かえ	1



質問5 熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？ (N=202)

	樹木管理で優先してほしいこと	件数	構成比
1	安全性	97	36.7%
2	遺構(歴史的建造物や石垣)の保護	107	40.5%
3	景観	50	18.9%
4	その他	2	0.8%
	無回答	8	3.0%
	総計	264	100.0%

	その他内訳	個数
1	樹木の命	1
2	1~3すべてをまずは考えてから	1



質問6 熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください(主なご意見を掲載)

1	現状いい、復旧を望みます。
2	葉がたくさんおちるので、おそうじを時々してほしいです
3	二の丸にもう少し桜を植えてほしい
4	紅葉する木をたくさん植えてほしい。紅葉に囲まれた熊本城を見たいです。
5	安全確保
6	御幸坂の桜がなくなったのはやはりさみしいです。熊本市民にとって、お城はやっぱり特別ですので大木や自然や緑、花がたくさんある季節感がある美しいお城であって欲しいです。切った株から生えてくる枝を大切に育てるのも1つの方法では？
7	景観とマッチした樹木の植栽をお願いします。
8	立派な樹木も多いので、可能なかぎり残して調和のとれた景観を保ってほしい
9	樹木にも命があるので、伐採したあとの樹木が、何かに役立つようにしていただきたい。
10	秋に紅葉が見れると良いと思う
11	桜の季節は、又、一段と熊本城が見ごえがあると思います。美しい熊本城を守って頂きたいです。
12	景観を重視しつつ、遺構の保護も出来る方法を望む
13	いつもキレイにしてくれてありがとうございます
14	サクラは多く残して欲しい。

### ③ 中央区民へのアンケート

#### 質問事項と結果

## 熊本城の樹木に関するアンケートのお願い

この度はアンケートにご協力頂きありがとうございます。

このアンケートは今後の熊本城内樹木の管理方法やサービスの向上のために利用いたします。該当するものを○で囲んでください。

ご性別	男性	女性	その他	回答しない	
ご年代	10代未満	10代～20代	30～40代	50代～60代	70代以上
校区	熊本市内中央区 ( ) 校区				

【質問1】熊本城に行かれる頻度はどのくらいですか？（周辺の二の丸公園、三の丸公園、古城堀端公園、高橋公園を含みます）

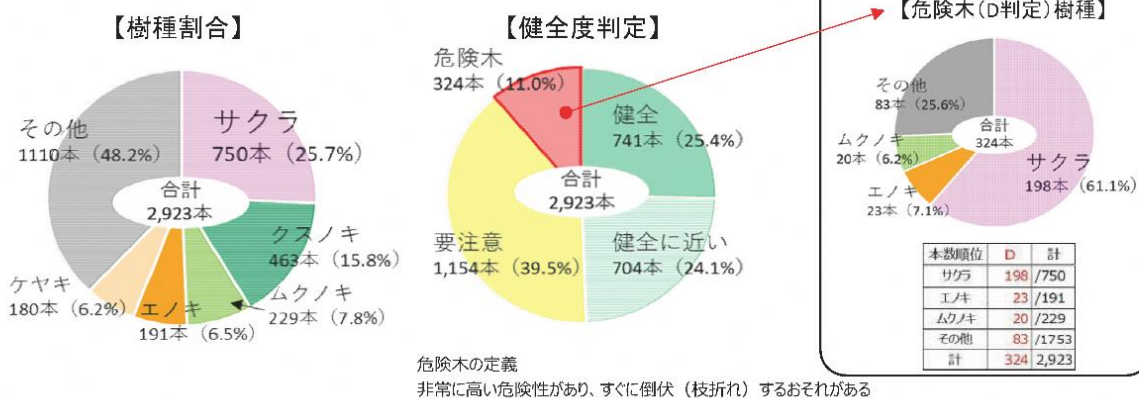
1. 年に1回未満	2. 年に1回	3. 年に2～5回	4. 年に6回以上
-----------	---------	-----------	-----------

【質問2】熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？（複数回答可）

1. 季節感(花見や紅葉等)	2. 緑陰(日陰)	3. 美しい景観	4. ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善
5. 野鳥など、生物の住処	6. その他 ( )		

昨年度実施した樹木医による樹木点検の結果、城内には高さ3.0m以上の樹木が**2,923本**あることが分かりました。そのうち、**約1割(324本)**の樹木が今にも倒木する可能性がある**危険木(伐採予定)**として判定されました。また、その他にも**約1割**の樹木が**文化財に影響を及ぼしている**ということも確認されました。今後そのような異常を有した樹木に対しては、根元から切る(伐採)、枝を落とす(剪定)を含め、適正な保存管理を検討していく予定です。下記の検討内容についてどう感じますか？

○熊本城内の樹木点検の結果



【質問3】危険木については、安全確保のため根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？

1. はい	2. いいえ	3. その他 ( )
-------	--------	------------

【質問4】サクラは城内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？

1. はい	2. いいえ	3. その他 ( )
-------	--------	------------

裏へ続きます⇒

【質問5】倒木すると"文化財建造物"に被害が生じる可能性がある、樹木の根が"石垣"を押して崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る（伐採）ことも仕方ないと思いませんか？

1. はい                      2. いいえ                      3. その他（                      ）



(文化財建造物沿いでの倒木)



(成長し石垣を押す樹木)



(石垣から生えている樹木)

【質問6】江戸時代から存在している樹木（古樹と呼んでいます）については、衰弱している樹木がありますが、可能な限り保護育成の措置を講じていくことを考えています。どう感じますか？

1. 賛成                      2. 反対                      3. その他（                      ）

【質問7】下の写真をご覧ください。樹木の背後には石垣や建造物がありますが、手前の樹木で隠されている所があります。この景観に対してどう対応すべきと考えますか？

1. 何もしない                      2. 数本枝を落とす  
3. 数本根元から切る                      4. その他（                      ）



水道町からの眺め



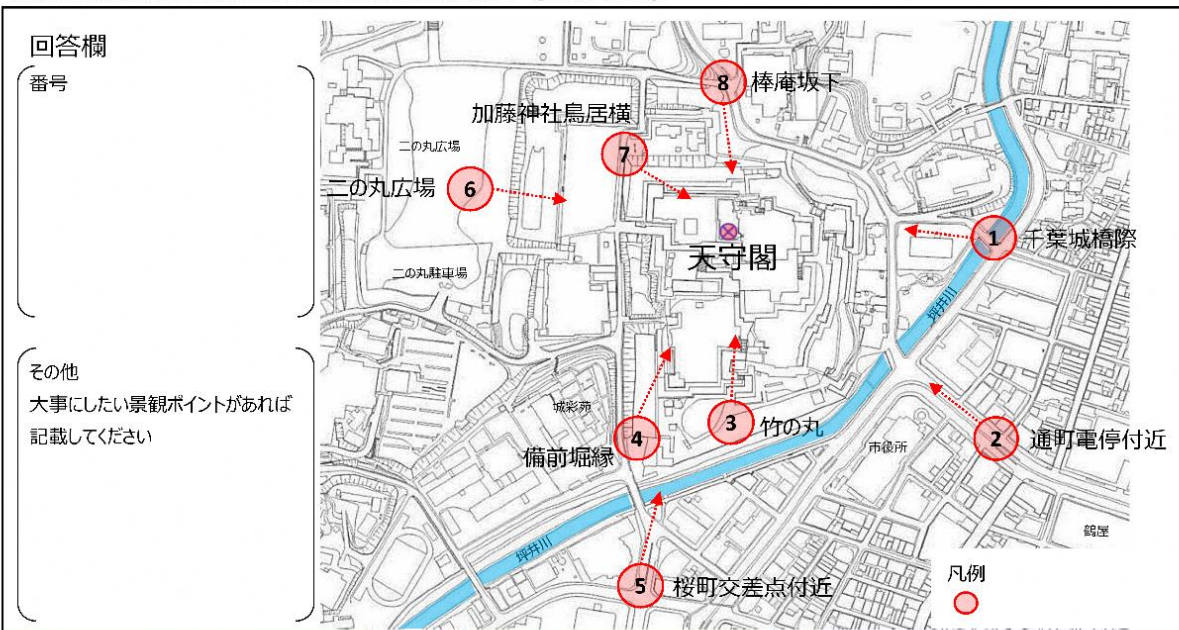
千葉城橋からの眺め

【質問8】熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？

1. 安全性                      2. 遺構（歴史的建造物や石垣）の保護                      3. 景観  
4. その他（                      ）

2 枚目へ続きます⇒

【質問9】熊本城の眺望を大事にしたい場所はどこですか？（複数回答可）



①千葉城橋際



②通町電停付近



③竹の丸



④備前堀縁



⑤桜町交差点付近



⑥二の丸広場



⑦加藤神社鳥居横



⑧棒庵坂下

裏へ続きます⇒

【質問 10】熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください

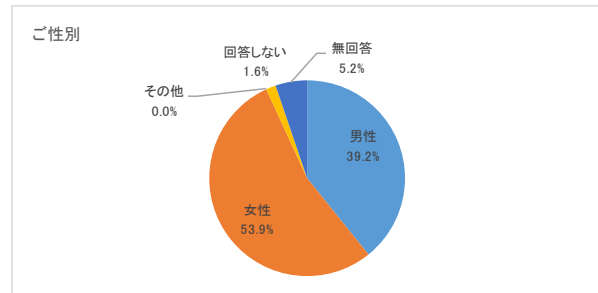
アンケートは以上です。  
ご協力いただきありがとうございました。



### ③中央区民へのアンケート(結果)

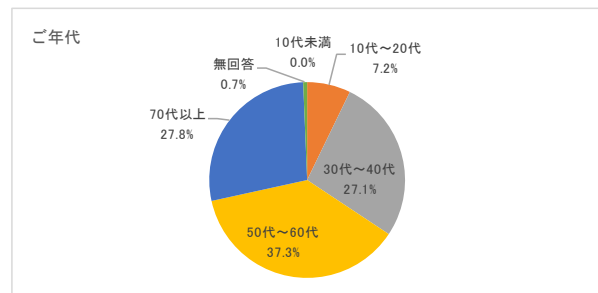
ご性別 (N=306)

	ご性別	件数	構成比
1	男性	120	39.2%
2	女性	165	53.9%
3	その他	0	0.0%
4	回答しない	5	1.6%
	無回答	16	5.2%
	総計	306	100.0%



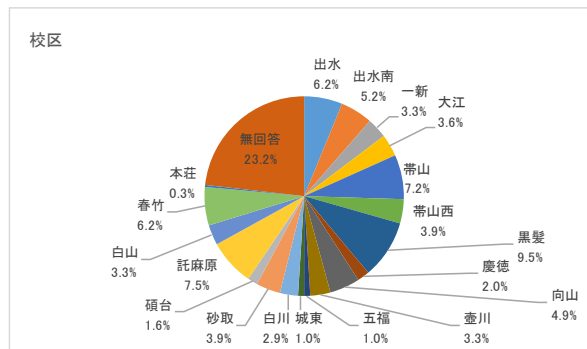
ご年代 (N=306)

	ご年代	件数	構成比
1	10代未満	0	0.0%
2	10代~20代	22	7.2%
3	30代~40代	83	27.1%
4	50代~60代	114	37.3%
5	70代以上	85	27.8%
	無回答	2	0.7%
	総計	306	100.0%



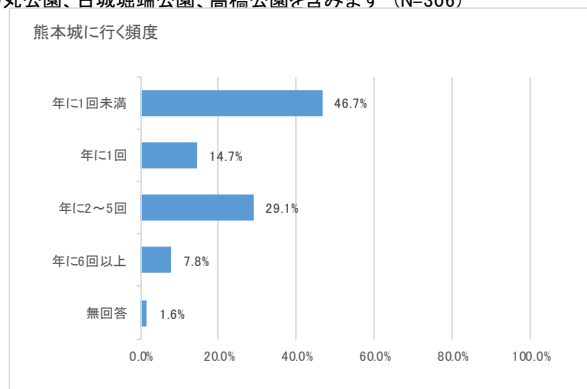
校区

	校区	件数	構成比
1	出水	19	6.2%
2	出水南	16	5.2%
3	一新	10	3.3%
4	大江	11	3.6%
5	帯山	22	7.2%
6	帯山西	12	3.9%
7	黒髪	29	9.5%
8	慶徳	6	2.0%
9	向山	15	4.9%
10	壺川	10	3.3%
11	五福	3	1.0%
12	城東	3	1.0%
13	白川	9	2.9%
14	砂取	12	3.9%
15	碩台	5	1.6%
16	託麻原	23	7.5%
17	白山	10	3.3%
18	春竹	19	6.2%
19	本荘	1	0.3%
	無回答	71	23.2%
	総計	306	100.0%



質問1 熊本城に行かれる頻度はどのくらいですか？(周辺の二の丸公園、三の丸公園、古城堀端公園、高橋公園を含みます (N=306))

	熊本城に行く頻度	件数	構成比
1	年に1回未満	143	46.7%
2	年に1回	45	14.7%
3	年に2~5回	89	29.1%
4	年に6回以上	24	7.8%
	無回答	5	1.6%
	総計	306	100.0%

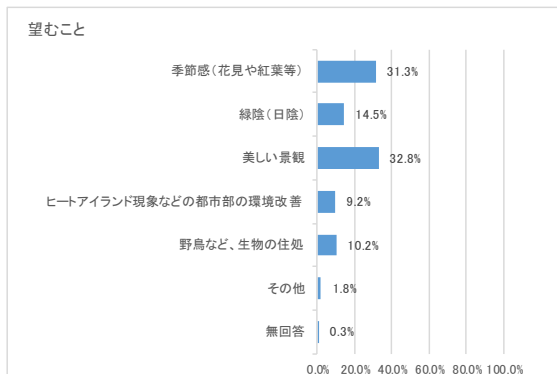


巻末資料

資料④ 市民アンケート結果

質問2 熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？（複数回答可）（N=306）

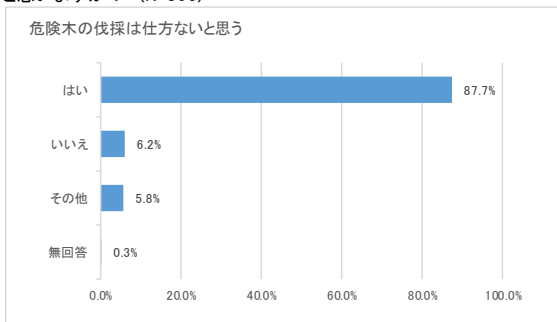
	望むこと	件数	構成比
1	季節感(花見や紅葉等)	231	31.3%
2	緑陰(日陰)	107	14.5%
3	美しい景観	242	32.8%
4	ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善	68	9.2%
5	野鳥など、生物の住处	75	10.2%
6	その他	13	1.8%
	無回答	2	0.3%
	総計	738	100.0%



	その他内訳	個数
1	古い樹木を大切にする。(質問6の1に同じ)	1
2	もっともっと樹木を増やしてほしい。『緑の熊本』特に二の丸公園に増して市民や観光客の憩いの場所にしてほしいです。	1
3	森林浴効果、長年の歴史を感じられる場所	1
4	樹木は、望むものの多くを既にもっている。	1
5	都内から来て緑の多い事に喜感じました。	1
6	護国神社 お宮参り	1
7	緑に囲まれた熊本城は、心の拠りどころです。	1
8	いこい(気分がスカッとする)	1
9	なるべく自然重視	1
10	お客様のおもてなし	1
11	災害に強い樹木	1
12	なし	2

質問3 危険木については、安全確保のため根本から切る(伐採)ことも仕方ないと思いますか？（N=306）

	危険木の伐採は仕方ないと思う	件数	構成比
1	はい	270	87.7%
2	いいえ	19	6.2%
3	その他	18	5.8%
	無回答	1	0.3%
	総計	308	100.0%

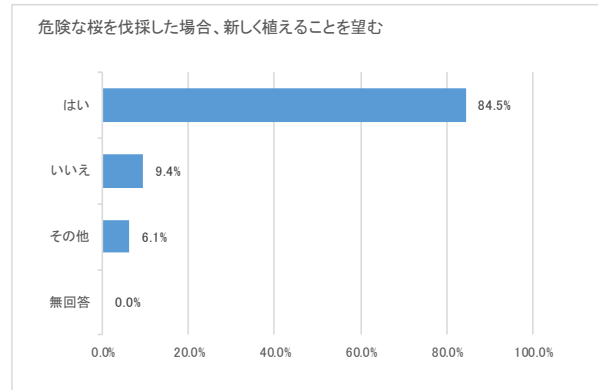


	その他内訳	個数
1	剪定	2
2	出来るだけ切らないでほしい	2
3	安全第1ですが、伐採以外の方法も検討してほしい。	1
4	巨木は残すために根本から切らないでほしい	1
5	他の方法はないんでしょうか？	1
6	保存管理不能の場合	1
7	別の場所に移動させる。	1
8	最悪危険木は仕方なし他は枝伐採で	1
9	安全確保が前提なら①、人を近づけなければ②	1
10	樹齢の永いものは移植	1
11	専門家の意見に従う	1
12	いっせいに切るとは反対	1
13	治療して治る物は治した方がよい。	1
14	金モクセイ	1
15	切るべき	1
16	その他に手段がないのであれば仕方ない。命には代えられない	1

質問4 サクラは場内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。

サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？ (N=306)

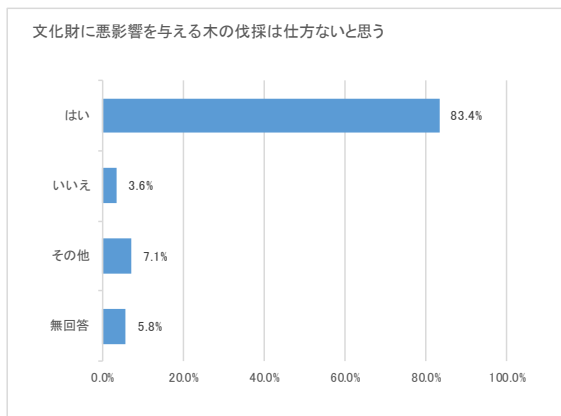
	危険な桜を伐採した場合、 新しく植えることを望む	件数	構成比
1	はい	262	84.5%
2	いいえ	29	9.4%
3	その他	19	6.1%
	無回答	0	0.0%
	総計	310	100.0%



	その他内訳	個数
1	他の木でもいい	2
2	日陰に成る木	1
3	同じ数ではなくてもサクラ並木類景観的に 良い間数で良いかと思う	1
4	他の樹木や花でも良い	1
5	手入れの容易な低木管理	1
6	大きな鉢に植えて下をセメントにしてその上 に置いて育てたら根がはらんでいいのでは ないでしょうか	1
7	どちらでもない	1
8	財政による	1
9	他の樹木でも可	1
10	植えたければ①、●●なら②	1
11	サクラが並んでいる場所ではサクラが良い と思いますが、他の木でも別に構わないで す。	1
12	数による	1
13	金モクセイ	1
14	景観しだい	1
15	半分植えるだけでもいいと思う	1
16	常緑樹を植える	1
17	いろいろなサクラのしゅるいをうえてほしい	1
18	危険木の割合がサクラが多い。何が原因で 危険木なのか分からないので、よく分から ないが、木の種類が危険度に関係ないので あれば、新しくサクラを植えてもいいと思う。	1

質問5 倒木すると“文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が“石垣”を押し崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？ (N=306)

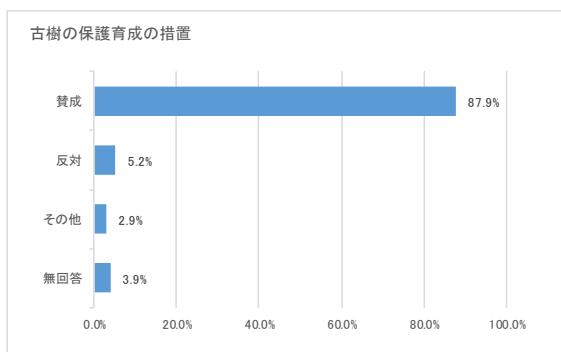
	文化財に悪影響を与える木の伐採は仕方ないと思う	件数	構成比
1	はい	257	83.4%
2	いいえ	11	3.6%
3	その他	22	7.1%
	無回答	18	5.8%
	総計	308	100.0%



	その他内訳	個数
1	移植できるものは移植する	3
2	補強してほしい	2
3	この様な樹木(成長し石垣を押し崩す樹木)(石垣から生えている樹木)は、お城の歴史を感じるのでそのままにしておくべき。	1
4	全体でどの位なのかが判らない	1
5	できるだけ枝の伐採等で残してほしい。	1
6	場所による	1
7	伐採後何らかの形(机にする)等で熊本城の設備にするなら良いと思う	1
8	フェンスなどは使えないのか？	1
9	なんとか残せないか。	1
10	質問に作為を感じます。	1
11	可能なら移動させる	1
12	石垣等に関しては石垣を調整して残す(両方共に) 建造物に影響を及ぼす樹木に対しては伐採もしかたない。	1
13	移植費用がかさむものを切る	1
14	直せる物は直した方が良い。	1
15	伐採は仕方ないが、その後の植樹も必要と思う。	1
16	どうにかして共存できないでしょうか	1
17	その他の手段による	1

質問6 江戸時代から存在している樹木(古樹と呼んでいます)については、衰弱している樹木がありますが、可能な限り保護育成の措置を講じていくことを考えています。どう感じますか？ (N=306)

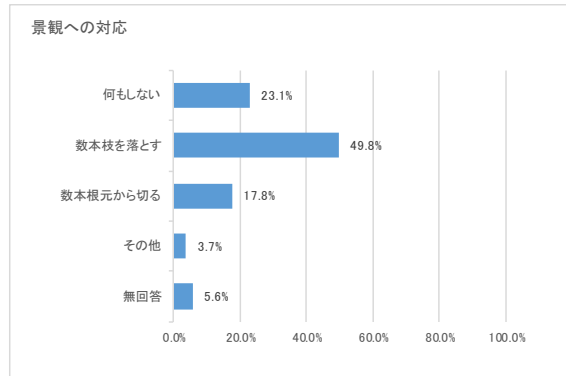
	古樹の保護育成の措置	件数	構成比
1	賛成	270	87.9%
2	反対	16	5.2%
3	その他	9	2.9%
	無回答	12	3.9%
	総計	307	100.0%



	その他内訳	個数
1	どちらでもない	1
2	数年先に伐採が必要な木の横に今から樹木を植える	1
3	財政による	1
4	出来るだけ剪定して残したい	1
5	措置にかかる費用次第	1
6	安全第一で	1
7	予算の許す限り、賛成	1
8	危険なら切るべき	1
9	古樹の数次第。数が多く、費用がかかりすぎるならば、選定していくべき。	1

質問7 樹木の背後には石垣や建造物がありますが、手前の樹木で隠されている所があります。  
この景観に対してどう対応すべきと考えますか？ (N=306)

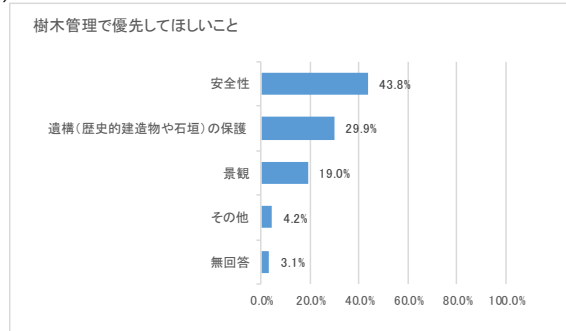
	景観への対応	件数	構成比
1	何もしない	74	23.1%
2	数本枝を落とす	160	49.8%
3	数本根元から切る	57	17.8%
4	その他	12	3.7%
	無回答	18	5.6%
	総計	321	100.0%



	その他内訳	個数
1	熊本市の温暖化に対する樹木の影響を考慮する	1
2	危険木を根元から切る	1
3	全体的に枝を落とす。	1
4	一定の高さから上部は幹から切る	1
5	悪影響がある木だけ伐採しても良いと思う	1
6	枝を調整する。	1
7	危険木であれば切る	1
8	景観に関してならば、樹木よりも電線ではないでしょうか	1
9	熊本城がよく見えるように景観よく	1
10	切った場合の景観の変化をAIなど使ってシミュレーションして、かっこいい熊本城がながめられるようにしていく	1
11	景観より、安全面と文化財保護を最優先して下さい。安全であれば何もしなくて良いと思います。	1
12	プロの意見による	1

質問8 熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？ (N=306)

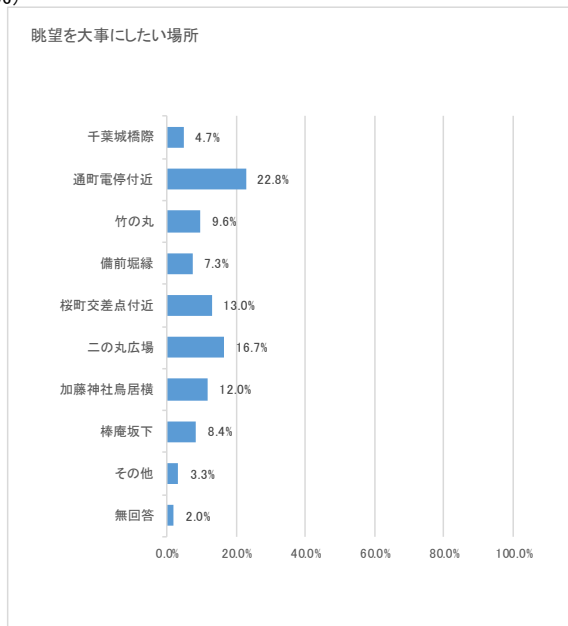
	樹木管理で優先してほしいこと	件数	構成比
1	安全性	168	43.8%
2	遺構(歴史的建造物や石垣)の保護	115	29.9%
3	景観	73	19.0%
4	その他	16	4.2%
	無回答	12	3.1%
	総計	384	100.0%



	その他内訳	個数
1	樹木の保護	2
2	ケースバイケースの管理	1
3	温暖化に対する樹木の効果	1
4	なるべく木を守ってほしい。	1
5	1・2・3どれも大切	1
6	移植できればして欲しい(切らずに)	1
7	計画的に樹木を管理して、大切に育ててほしい	1
8	安全性を考慮して、2、3、を保全する	1
9	温暖化、ヒートアイランド化対策	1
10	1、2、3全て大事であり、1、2、3に対するものさし、基準を設けいかに永くみどりを守るか工夫してもらいたい	1
11	お城や石垣の保護をお願いしたいです。ネ	1
12	鳥のフンの問題	1
13	1>2です。	1
14	1>2>3	1

質問9 熊本城の眺望を大事にしたい場所はどこですか？(複数回答可) (N=306)

	眺望を大事にしたい場所	件数	構成比
1	千葉城橋際	44	4.7%
2	通町電停付近	212	22.8%
3	竹の丸	89	9.6%
4	備前堀縁	68	7.3%
5	桜町交差点付近	121	13.0%
6	二の丸広場	155	16.7%
7	加藤神社鳥居横	111	12.0%
8	棒庵坂下	78	8.4%
9	その他	31	3.3%
	無回答	19	2.0%
	総計	928	100.0%



	その他内訳	個数
1	全て大事!	4
2	特になし	2
3	御幸坂の桜並木	1
4	行幸坂	1
5	大いちょうと天守。梅林、石垣が2つ重なっている所からの景色。	1
6	全体的なバランスを考えて欲しい。	1
7	熊本城を見る角度(外観)により、表情が変わるので、回答がむずかしいです。	1
8	建物、石垣、緑(木)のバランスのとれた景観	1
9	観光目的に訪れ撮る人、所は良い所を探して撮りますが、②、⑤、⑥はイベント・買物など人が通る、来る数、写る場合があるので眺望を大事にした方が良いと思う	1
10	人目につく場所、又、観光する人の目につきやすい場所とおもっております。	1
11	通町からお城を望むポイント	1
12	中央郵便局前近くの橋の上からの景観	1
13	城にかくれる木々を整備してほしい。	1
14	お城の雄姿	1
15	全部 5番から1番あたりまでのイチョウの並木	1
16	金峰山とか近くの山からの景観	1
17	桜町から	1
18	テレビでお城を水道町電停から写しておりますが樹木でお城が少ししか見えません。他県のお城も最近テレビで見ると全体的に美しくうつっているのを見ると他県に負けない位全体的にきれいにとってもらいたい。	1
19	街の中にお城がある景観が好きです。	1
20	天守閣周辺	1
21	市民の日常に溶け込んでる事。	1
22	他県の人が訪れて街からお城が見える感動	1
23	水と森の都の調和	1
24	離れていてもお城が見えること。	1
25	古城の石垣群(第1高校周辺)	1
26	長堀景観	1
27	街から見える城は年代選ばず眺めることができるので大切にしたい。	1

質問10 熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください(主なご意見を掲載)

1	城内にこんなにも多くの危険木や要注意樹木があることを初めて知りました。熊本城内散策を楽しむ為にも、安全を優先していただきたいと思います。
2	樹木がたくさんあるのが熊本城の特徴だと思います。(ろう城の対策でもあった。)できる限りそのまま残してほしいです。いつも手入れをしていただけてありがとうございます。
3	短中長期的に計画頂き、「文化財建造物」に被害が生じないようにしてほしいです。又、子供達が遊ぶところでは、樹木による見通しが悪くならないよう安全面も考えてほしいです。
4	熊本城は街中にある緑のオアシス的存在でもあると思うので観光スポットの中心ではあるけれど、その基調には、自然との共生をいちばんに考えてほしいと思う。春の桜はもちろん、早春の椿も好きだし、また秋のイチョウも、もちろんクス青葉の5月も。四季をしっかりと感じられる熊本城がこれからも市の中心でデンと構えていてこそ、熊本市の未来も確かなものになるのでは。10年後、20年後(イヤあ、これはムリかも(笑))を楽しみにしています。
5	緑の多い城を保ってほしい
6	竹の丸の楠の木が何本もなくなったのは残念だった。天守が木にかくれていてもいいと思う。天守は近くで見られるから。
7	樹木にも寿命があると思うので適切に世代交代は必要だと思う。今後の管理をどう行かを具体的に計画をした上で、伐採伐根も行っていくべきだと思う。危険を予想して被害が出ない事が大切と思う。大木の管理を次の世代に押しつづける形とならないように、費用的なところも明確にして未来へどうつなげていくかを、長期的な目線で検討して、実行して欲しいと思います。目先の事の対処にならない事を願います。
8	四季を感じる熊本城は本市の財産であり、私たち市民ひとりひとりの財産だと思います。特に春の桜は、日本一美しいと思っています。永くこの景観が続くことを願っています。市役所様におかれましては、日々の市民によりそったご活動いただき誠に感謝申し上げます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。
9	歴史的な建造物や石垣を維持しながら景観を保つのは、簡単にできることではないと思います。危険木を伐採し新しい木を植え10年、20年後の景観を考えながら長期的に計画を実施していくことが大切だと考えます。
10	「森の都」と呼ばれるくらいなので、樹木は大切にしてほしい。同時に景観や安全性を保ってほしい。桜(ソメイヨシノ)は樹木としては、寿命が短く、戦後に植えられた木々が老いて倒木の危険性があることはニュースで見聞したことがあるので、その点は伐採、植えかえも致し方ないと感じます。少し論点はありますが・・・また、伐採した、樹木で加工品を作って販売するのもおもしろいかもかもしれません。加工過程の一部を障害者施設に委託する等、福祉も活用すると、より商品価値がつくかも。
11	造構の保存はもちろん、周囲の樹木や緑を含めた景観も大事だと思います。
12	緑に囲まれた熊本城が大好きです 管理等大変でしょうが頑張ってください
13	熊本城の樹木、緑を守って頂きありがとうございます。今後、安全第一に守って頂けるようよろしくお願いします。
14	樹木の管理等、いろいろ大変ですが、がんばっていただきたい。小さい頃、城内を駆けまわってあそんでいた頃、のぼってはいけなしいといわれながら登っていました。(本当にごめんなさい。)楽しい思い出が沢山、数えきれない程あります。
15	・樹木、緑化など、地下水、保水、ヒートアイランド?対策でも大切だと思うので増やして欲しい ・歴史的に判ってる古木、野鳥、生物など、現物に触れ、判るように残して欲しいが、安全面や、害虫や被害の予想が有るなら、仕方ないと思う ・桜並木の間隔的な景観が大丈夫なら、伐採した場合同じ数を植えなくても良いと思う。立派な大桜なら残して欲しい 桜は香木(チップ)にもなるし、伐採する時は再利用か、配る?還元をして欲しい ・桜、紅葉も大好きです。イチョウも季節感が有って良いと思いますが、全国的に観る風景でも有ります 詳しくないのですが、インスタグラム?のサイトで、藤の花、アジサイ、の映えポイント?を撮りに行く人が居て、観光スポットなのにちょっと違った植物、(木)を撮るそう。
16	熊本城は私の古里的な存在です。心のよりどころでしょうか? 緑と城の調和は大事だと思いますが、石垣を壊すような樹木は撤去も必要ではないですか?
17	・熊本城の最高の景観は、春の桜と熊本城のコントラスト最高と思います。・楠の木の新緑も美しいと思います。・秋の銀杏の黄も素晴らしい。もう少し、紅葉の赤もあれば良いかな?と思います。・樹木と違いますが、以前、肥後六花も展示してあったと思いますが、今後も続けてほしいと思います。よろしく。
18	何処から眺めても天守閣を望みたい。
19	二の丸広場にもっと多くの桜を植樹したい。
20	木は成長し、大きくなるのでどうしても手入れが必要なのでただ植えるだけではいけない(お金も手間もかかるので) 計画的に、植える(必要最低限) 木はとにかく手入れが大変です 虫や台風などで大変になることもあるので、植えるのは最低限でいいと思う
21	緑や歴史、景観を大事にするのは大前提として、何より安全性を確保して頂く事は、お願いしたい所です。どちらも、大切にできるならそれが、一番ですが、場所によっては、緑を優先し立ち入りを禁止するか、人を優先するなら、安全性を取って木を伐採するなどの措置が好ましいと考えます。熊本を、大事にしていきたいという気持ちは同じと存じ上げますので、ぜひ、よろしくお願い致します。
22	樹木や緑を大切に保護することが、そのまま熊本及び熊本市民のためになることである。
23	普段見慣れすぎていて、改めて写真で見るとせつないくの熊本城が緑でおおわれている感じを受けました。自然の木々と文化財が上手く調和する管理をお願いします。
24	市民の為のお城なら、危険木は早く切った方が良く思う。
25	・熊本城は熊本県民が誇る文化財建造物だと思います。県民の声を基に今後の方針を決定していく姿勢が素晴らしいと思います。・これから何十年、何百年と輝き続ける熊本城を維持・管理願います。
26	緑の景観は残しつつ、眺望を生かした樹木配置にほしい。
27	熊本の魅力として、街と城に近いのはすごく良いと思っている。ただ、やはり、熊本城の歴史や、イチョウの木等はより近くで感じるべきだと思うので、木が全てを隠す程でないのなら、貴重な遺産の一部を変える必要はないと思う。しかし、樹木が石垣や観光者に対して危険であったり、悪影響を与えるなら対処すべきだと思う
28	危険木のサクラを伐採することには賛成です。伐採した198本に対して全てサクラを植えるのではなく、周辺の樹木とのバランスを考えて樹種を選んで下さい。
29	豊かな水と緑に恵まれた森の都、熊本が大好きです。美しい緑に囲まれた熊本城は、心の拠り所でもあります。6年前の地震により、姿を変えた熊本城や、木々の被害に心が痛み、涙しました。徐々に修復されている様子を祈るような気持ちで見守っております。緑を保存し、維持していくのは、大変なご苦労があると思いますが、熊本県人の誇りに思う気持ちをくんで頂ければ幸いです。
30	熊本城には2週間1度程度足を運びます。悩んでいる時や疲れた時に熊本城の緑に坪井川の川のせせらぎを感じるとすべて忘れさせてくださる様な感じがしております。今回、お手紙を頂いて、改めて熊本城のみどりについて考えてみました。私は『熊本城のみどり=癒し』と考えております。今後、コロナが落ちついて県外の方に多く訪れて頂く為に、現代の疲れた方々を『熊本城のみどり癒す活動』につなげてもらえたら幸いです。お手紙を頂けて、本当に嬉しかったです。これからもがんばってください。



31	お城と樹木の一体感あるところが熊本城 二の丸などもっと樹木が桜があったらもっと良い。
32	森の都の名にふさわしい、木はなるべく残してほしい。年に一度のサクラ楽しみです。熊本の暑い夏、木陰は大切です。
33	いつ行ってもきれいな熊本城です。緑も多くいつ行っても大きな木に力をもって感動しています。緑が多くていやされます。たくさんの方の力に寄りたもたれているのだとおもいます。安全性に問題のないものであればずっと残してもらいたいです。遠くからでも緑と共にながめるお城は本当に人に力を与えてくれます。これからもずっとそんなお城であってほしいです。市内の緑にかかわってらっしゃる方々ありがとうございます。
34	熊本城は、熊本が世界に誇ってお城なので永久に保存すべく手入れが必要だと思います。特に通り町にお買い物に来られた方たちや近隣のホテルに滞在された方たちが、電車通りから熊本城を見上げて、熊本城に登ってみようかなと思われるような景観が良いと思います。そのために熊本城がもっと目立つようになれば良いと思います。観光客が増加すれば熊本の経済も潤い市民の暮らしももっと豊かになると思います。
35	森の都仙台に負けないような樹木と大、中、小の緑と花類も沢山あればと思います。
36	近くの山から見る、緑に囲まれた熊本城もとても良い景観です。もりの都くまもとを大事にしたいです。
37	古樹を残してこそ熊本城と文化財建造物の価値が出てくると思います。木も生きものです。古木は寿命が来るまで生かしてこそ、歴史ある熊本城にとって必要になってくると思います。
38	安全性と景観の両立は難しいかもしれませんが、良いバランスで残して欲しいと思います。
39	木は生き物ですので、成長したり病気になったり、私達の予想を越えた事態が発生します。しかしそれは生き物が故に仕方ないと思います。皇居の森は百年かけて完成される様に計画されていると聞いた様な。5年10年の短期目標も大切ですが、50年100年先も見越しての計画・整備を望みます。様々な意見があると思いますが、木樹のため、熊本の大切な宝・熊本城のため、どうぞ宜しくお願いします。
40	森の都熊本にふさわしい樹木の多さだと思います。特に桜の季節になると、お花見に出かけています。危険木が沢山あるのに驚きました。景観や石垣、建造物の保護の為、伐採して欲しいと思いました。
41	危険木については、安全確保の為、根本から切る事も致しかたないとは思いますが、出来る限り、伐採せずに安全性を確保する事も検討頂きたく存じます。
42	樹木の管理は費用がかかるかと思いますが、熊本城は熊本の重要な観光資源また県民の心のシンボルであるため、景観(季節感(桜や紅葉・いちようを含む))を良くすることを希望します。危険な箇所(倒木等)についても、事故が起こる前の早めの措置をお願いします。(伐採も仕方ないと思います)
43	よく二の丸公園を利用します。四季折々に変化を見せる樹木と古を想起させる古木たちに心が和み、いやされます。観光に来られる方々、遠足で利用する子どもたちなど、利用者の安全を第一に優先しながら、受け継がれてきた緑を、次の世代に引き継ぐ取組みをお願いします。
44	歴史ある熊本城とも生きて、樹木や緑にこれからも、元気に育って欲しいと思います。管理は大変と思いますが、宜しくお願い致します。
45	香りの良い樹木(金モクセイ等)を植えて欲しい。
46	難しいと思いますが、伐採後の樹木の活用や、木材利用を行って欲しいと思います。
47	樹木にも寿命があるので、何でも残すことは無理だから、その判断が必要だと思います。
48	熊本県民にとって大事な熊本城なので、自然の木々と共存しながら景観を保ちたいと思います。しかし、危険であったり、石垣に影響があるのなら未来のためにも仕方ない事かと…。健全である木々の保存にも目を向けて今までのように保存して頂けたらうれしいです。
49	熊本城は熊本市民県民にとっては大切なものです。同じくらい緑も大切です。熊本城の景観、文化財、樹木、眺望など大切にしていなければ幸いです。
50	以下に、熊本城の景観について、樹木と関連付けて私見を述べます。素人考えですが、少しでも貴計画実行上のご参考になれば城を愛する一市民として本望です。1. 城の景観の本義とは 戦国時代(1)城攻めの敵兵に対する威圧(戦意を削ぐ)(2)城下の住民に統治者の威信を示すシンボル 現代(1)朝夕城を仰ぎ見る市民の誇りとなる姿(郷土愛の涵養)(2)観光客に城の威容をアピール出来る姿(観光客の撮った写真やSNSで発信した情報は対外的な城のPRになり、写真映えが良いほど効果的。) 2. その為には城本来の姿・形を出来るだけ見せる必要がある。即ち、堀、石垣、塀、櫓を従えた重層構造の上に天守閣がある形。現在は樹木で隠されている所が多いが、イメージ的には古写真に写っている樹木のまばらな姿。 イメージとして次の資料の該当写真をご参照下さい。
51	あくまで安全面と文化財保護が大切だと思います。景観は、むしろ無視しても構いません。西南の役の際の銃弾が、樹木に入り込んでいる所があると聞いています。歴史的にも非常に貴重と思われるので、安全面が確保できていれば、可能な限りそのような樹木は残していただければ、県民として非常にうれしいです。熊本城だけでなく、県内の歴史的な文化財は、可及的に保護していただき、私たちの子供たちに実際見て、感じてもらう環境にしていきたいと思います。乱文失礼しました。
52	木にも寿命があるので、安全面等からやむを得ない場合は伐採すべきと考えます。(もったいないという声があるかもしれませんが、時代ごとに重視する価値に変化はあってしかるべきです)ただし伐採後は、新しい木を植える、切った木のうち活用できる部分は合理的に活かす(使ったり、売ったり)ことをして、もったいないという声に配慮していくことは必須だと思います。
53	管理は大変かと存じますが、桜や紅葉のような季節感ある樹木は県民だけでなく、全国から訪れる方の目や心を和ませいやしませるもので、経済活性化にもつながると考えます。学校教育(校外学習)や子どもの遊び場にもなり、樹木とその周囲に集うことができる環境はなくなってほしくないと思っています。
54	私の個人的な印象ですが、樹木が大きくなりすぎていて熊本城の景観が損なわれていると思います。災害も少なくない地域ですので、保護も大切なことですが思い切った判断も必要だと思います。

## ④緑化フェア来場者へのアンケート

### 質問事項と結果

花と緑に関するアンケート調査

くまもと花博にご来場いただき、ありがとうございます。  
 今回の花博の開催を契機として、「森の都くまもと」の更なる推進に向けた事業を展開していくにあたり、花と緑に関するアンケート調査にご協力をお願いします。

(以下、「熊本城みどり保存管理計画」に関連する質問のみ抜粋)

【質問1】最後に、あなたの情報を教えてください。

1. 年齢を教えてください。

10代以下    20代    30代    40代    50代    60代    70代以上

2. 居住地について教えてください。

熊本県外 (            )    熊本市外 (            )    熊本市内 (中央区・東区・西区・南区・北区)

昨年度実施した樹木医による樹木点検の結果、城内には高さ3.0m以上の樹木が2,923本あることが分かりました。

そのうち、約1割(324本)の樹木が今にも倒木する可能性がある危険木(伐採予定)として判定されました。

また、その他にも約1割の樹木が文化財に影響を及ぼしているということも確認されました。

今後そのような異常を有した樹木に対しては、根元から切る(伐採)、枝を落とす(剪定)を含め、適正な保存管理を検討していく予定です。下記の検討内容についてどう感じますか？

【質問2】倒木すると“文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が“石垣”を押し崩壊する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？

(文化財建造物沿いでの倒木) 手前は長堀



石垣に根を張らせる樹木



成長し根が石垣を押し出したり変形させる

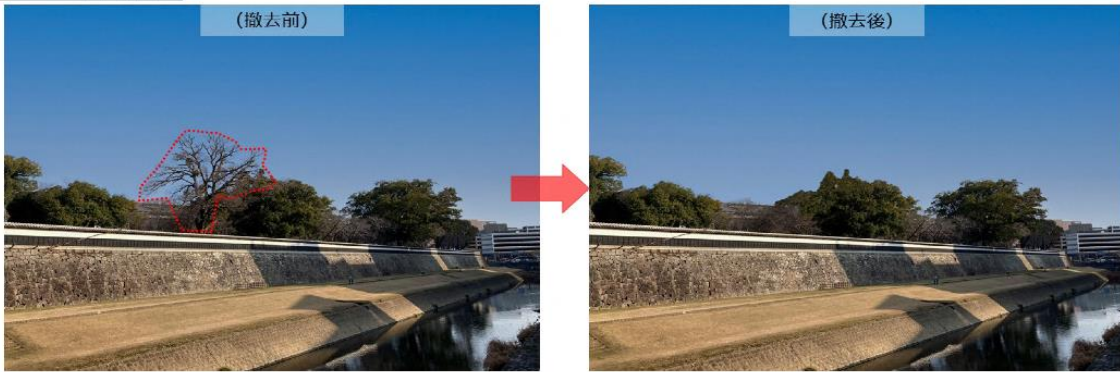


1. はい    2. いいえ

【質問3】危険木や文化財に影響を及ぼしている樹木を撤去すると下の写真のように景観が変わる箇所があります。

下記3つのケースについてどう感じますか？

#### ケース1. 長堀沿い



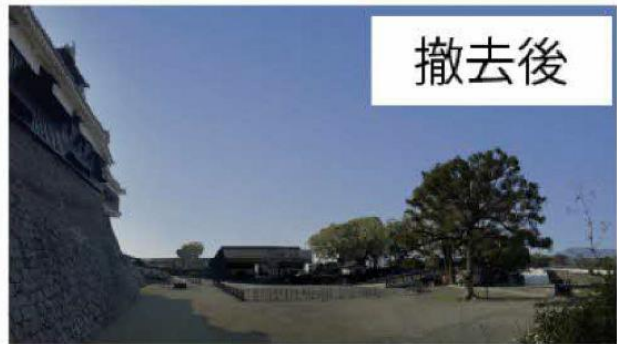
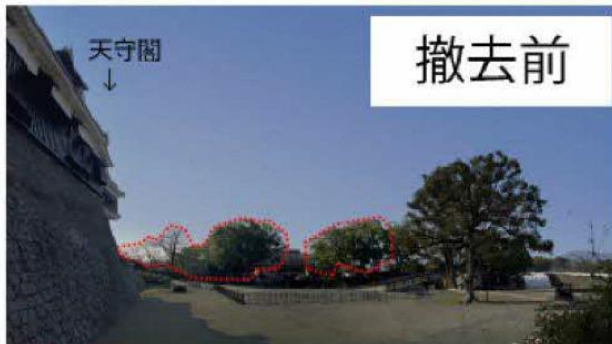
1. 撤去することには反対だ
2. 建物や石垣を守るためには仕方がない
3. もっと撤去したほうがいい

#### ケース2. 通町筋



1. 撤去することには反対だ
2. 建物や石垣を守るためには仕方がない
3. もっと撤去したほうがいい

ケース3. 平左衛門丸



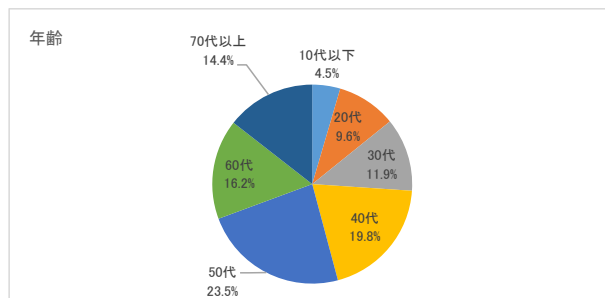
1. 撤去することには反対だ
2. 建物や石垣を守るためには仕方がない
3. もっと撤去したほうがいい

#### ④緑化フェア来場者へのアンケート(結果)

##### 【質問1】

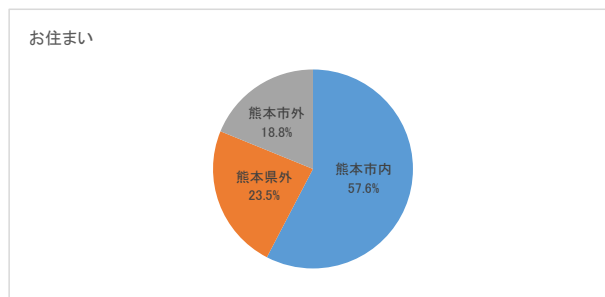
1. 年齢を教えてください。

	年齢	件数	構成比
1	10代以下	70	4.5%
2	20代	149	9.6%
3	30代	184	11.9%
4	40代	306	19.8%
5	50代	363	23.5%
6	60代	251	16.2%
7	70代以上	223	14.4%
	総計	1546	100.0%



2. 居住地について教えてください。

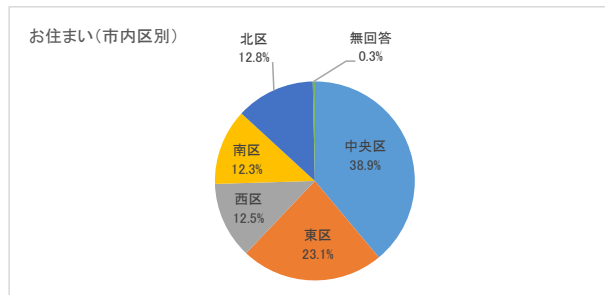
	お住まい	件数	構成比
1	熊本市内	891	57.6%
2	熊本県外	364	23.5%
3	熊本市外	291	18.8%
	総計	1546	100.0%



	お住まい	件数	構成比
1	熊本市内	891	57.6%
2	熊本市外	291	18.8%
3	熊本県外	364	23.5%
	総計	1546	100.0%

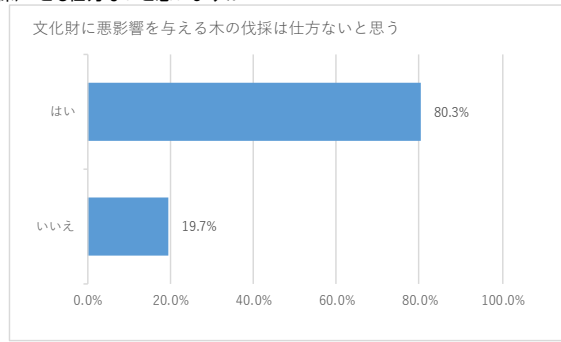
(熊本市内とお答えした方へ) お住まいの地域を選択してください。

	お住まい(市内区別)	件数	構成比
1	中央区	347	38.9%
2	東区	206	23.1%
3	西区	111	12.5%
4	南区	110	12.3%
5	北区	114	12.8%
6	無回答	3	0.3%
	総計	891	100.0%



【質問2】倒木すると“文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が“石垣”を押し崩壊する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る(伐採)ことも仕方ないと思いませんか？

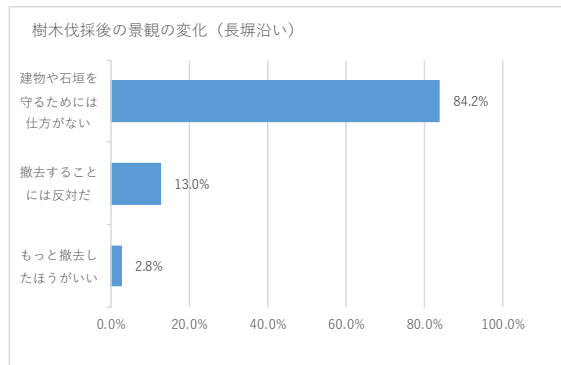
	文化財に悪影響を与える木の伐採は仕方ないと思う	件数	構成比
1	はい	1242	80.3%
2	いいえ	304	19.7%
	総計	1546	100.0%



【質問3】危険木や文化財に影響を及ぼしている樹木を撤去すると下の写真のように景観が変わる箇所があります。下記3つのケースについてどう感じますか？

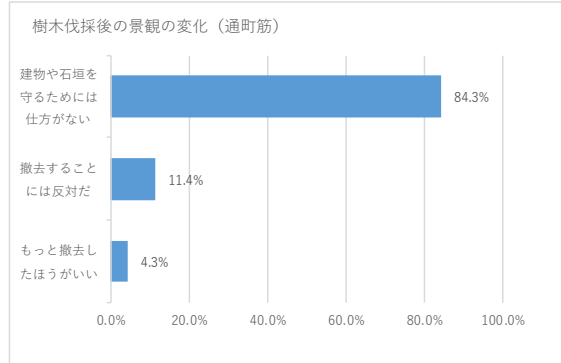
ケース1. 長塙沿い

	樹木伐採後の景観の変化(長塙沿い)	件数	構成比
1	建物や石垣を守るためには仕方がない	1301	84.2%
2	撤去することには反対だ	201	13.0%
3	もっと撤去したほうがいい	44	2.8%
	総計	1546	100.0%



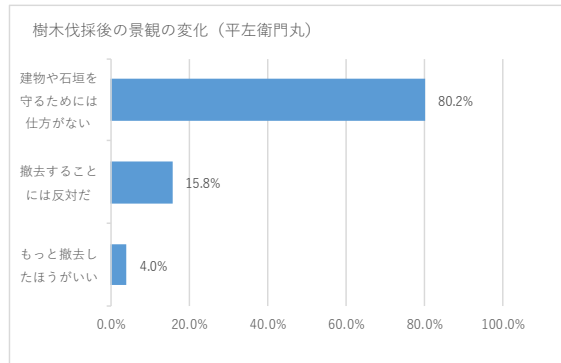
ケース2. 通町筋

	樹木伐採後の景観の変化(通町筋)	件数	構成比
1	建物や石垣を守るためには仕方がない	1303	84.3%
2	撤去することには反対だ	177	11.4%
3	もっと撤去したほうがいい	66	4.3%
	総計	1546	100.0%



ケース3. 平左衛門丸

	樹木伐採後の景観の変化(平左衛門丸)	件数	構成比
1	建物や石垣を守るためには仕方がない	1240	80.2%
2	撤去することには反対だ	244	15.8%
3	もっと撤去したほうがいい	62	4.0%
	総計	1546	100.0%



## 熊本城みどり保存管理計画

令和5年（2023）2月

発行 熊本市 文化市民局 熊本城総合事務所

〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-6 SPring 熊本花畑町 3F

TEL 096-352-5900

E-mail [kumamotojou@city.kumamoto.lg.jp](mailto:kumamotojou@city.kumamoto.lg.jp)